

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【66】

2. 日時：令和4年1月25日 13時30分～16時30分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

義崎管理補佐、植木主任審査官、大野主任安全審査官、岩崎安全審査官、  
服部安全審査専門職

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 部長（電源建築） 他14名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 担当※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁イワサキです。それではですねと。
0:00:06	島根 2 号機の施設工認のヒアリングを開始したいと思います。早速ベースが中国電力の方からご説明をお願いいたします。
0:00:21	中国電力の勝部です。よろしくお願いいたします。
0:00:24	それでは初めにですね、本日の提出資料について確認させていただきたいと思います。
0:00:32	提出日はすべて 4 月 20 日。
0:00:35	で、資料番号 NS に岡 032。
0:00:40	NS2.1。
0:00:42	29
0:00:45	NS2.1。
0:00:47	029、括弧費。
0:00:50	NS2 を 020 回ゼロイチの四つの資料になります。資料はお手元におそろいでしょうか。
0:01:00	結構イワサキそろっております。
0:01:05	ありがとうございます。
0:01:06	それでは説明の方を始めさせていただきたいと思います。
0:01:11	本日は、
0:01:13	まず、ブローアウトパネル、
0:01:15	関連設備の設計方針についての、
0:01:18	記載を適正化する内容について説明させていただきます。そのうち、先行機との相違箇所を中心に、
0:01:26	NS2 を 020 回ゼロイチ補足説明資料により説明をさせていただきます。
0:01:34	NS2.1029、括弧費比較表についての説明については、
0:01:41	補足説明資料にて先行機との相違箇所も踏まえて説明しますので、割愛させていただきます。
0:01:49	それではまず、
0:01:50	ブローアウトパネル関連設備の設計方針について。
0:01:54	資料番号 NS2 他 032。
0:01:58	の適正化所。
0:02:00	内容について説明いたします。
0:02:04	適正が箇所は、
0:02:06	全部で 10 項目あります。
0:02:10	左列。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:11	ナンバー1 から 10 のうち、ナンバー5 及び 7 以外については、表現等の原本の記載。
0:02:20	表現等の適正化による内容となっております。
0:02:24	ナンバー5。
0:02:26	MSTトンネル室、ブローアウトパネルの設計条件である地震荷重については、
0:02:32	最大応答加速度による、
0:02:34	荷重を記載しておりましたので、床応答スペクトルを踏まえた荷重に適正化いたしました。
0:02:43	続いて、
0:02:44	失礼しました。No.9 になります。
0:02:47	表 7-4。
0:02:49	フルアウトパネル閉止装置。
0:02:51	加振試験時の、
0:02:54	加振加速度の測定結果については、
0:02:57	加振実績の
0:02:59	振動台、最大加速度と。
0:03:02	模擬地震は、最大加速度の比較を記載しておりましたので、
0:03:06	関心実績の振動台、最大加速度と、
0:03:10	設計用震度の比較に、
0:03:13	適正化いたしました。
0:03:15	続きまして、補足説明資料の説明に移ります。
0:03:20	資料番号NSIに、
0:03:22	020 回ゼロイチ。
0:03:26	の、通しページ 133 ページをお願いします。
0:03:33	表 2-1 に示すブローアウトパネル関連設備の構成について説明いたします。
0:03:42	柏崎 7 号と島根 2 号は、主蒸気管トンネル室にブローアウトパネルが設置されていますが、
0:03:49	東海第 2 及び女川 2 号には設置されていないため、相違しているものです。
0:03:56	島根 2 号は、柏崎 7 号と同様に、
0:04:00	原子炉建物燃料取替階から屋外へ通ずるブローアウトパネルに加え、
0:04:07	主蒸気管トンネル室からタービン建物等へ通ずるブローアウトパネルにより、
0:04:12	主蒸気管破断事故時に発生する蒸気を、
0:04:16	現象建物外への設計としていることから相違しているものです。
0:04:22	また、島根 2 号の燃料取替階ブローアウトパネル閉止装置は、
0:04:28	屋内に設置されており、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:30	燃料取替階、ブローアウトパネル、
0:04:33	の開放状態によらず、指導者が可能な設計としていることから、
0:04:38	燃料取替階、ブローアウトパネル、強制開放装置目的は、
0:04:44	強制開放装置の設置目的は、東海第 2、及び柏崎 7 号と異なっております。
0:04:52	次のページをお願いします。
0:04:55	表 3-1。
0:04:56	燃料取替階ブローアウトパネルの
0:05:00	設備。
0:05:01	情報調査。
0:05:03	設備詳細について説明します。
0:05:06	パネル枚数及び設計差圧については、プラントごとの、
0:05:11	保有条件等の違いによる相違となっております。
0:05:15	作動方式については、島根 2 号は、クリップ式とし、
0:05:19	弾性設計を地震動SDや、
0:05:23	設計差圧を考慮してクリップ数を決定しています。
0:05:28	FLIPの材質については、
0:05:30	耐食性の向上を目的として、
0:05:33	札 304 としています。
0:05:36	また、パネルと躯体の摩擦力を低減させるため、
0:05:40	柏崎 7 号と同様に、パネル及び躯体にステンレス製のすべり台を設置しております。
0:05:49	島根 2 号は、クリップ式のため、テンションリングは設置しておりません。
0:05:54	コーキングについては、皆川 2 号と同様に、パネル周囲に水切り版を設置し、シール材によるコーキングはありません。
0:06:04	次のページをお願いします。
0:06:08	今日、4-1。
0:06:10	FLIP引張試験等について説明します。
0:06:14	島根 2 号は、クリップ式のため、大戸グラフ試験機を用いた引張試験を実施しています。
0:06:22	また、
0:06:23	試験体数は、ばらつきを考慮して、30 体をしております。
0:06:29	次のページをお願いします。
0:06:33	表 5-1。
0:06:35	燃料取りかえ替え、ブローアウトパネルの開放試験について説明します。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:41	島根 2 号では、柏崎 7 号及び女川 2 号と同様に、3 回の試験を実施していません。
0:06:49	また、試験用パネルは、実機と同一とし、
0:06:53	黙秘により、
0:06:54	開放動作を確認しております。
0:06:58	これで説明者を交代します。
0:07:02	中国電力の中嶋です。
0:07:05	それでは引き続き、ブローアウトパネル閉止装置について先行他の相違点を説明いたします。
0:07:11	今回申請で主な説明事項として 5 設備ですので、
0:07:15	設計上の考慮事項を踏まえて説明させていただきます。
0:07:20	当地ページ 138 ページ。
0:07:22	になります。
0:07:24	まず、設備設計の総医研について説明します。
0:07:28	表 6-1 に、設計の概要、設計の相違の概要をまとめています。
0:07:34	島根 2 号機の DOP 装置は、
0:07:37	欧州の原子力発電所にて原子炉格納容器のバウンダリの一部として使用されているダンパーをベースとした。
0:07:44	ダンパ方式としています。
0:07:47	また、装置の設置場所は屋内であり、東海第 2、柏崎 7 事となります。
0:07:54	農地の営巣地のイメージは図 6-1 に示す通りです。
0:08:00	屋内設置とすることで、MLB エッジ等の蒸気流路上に設置する装置を設置することとなりますが、
0:08:07	蒸気流量の確保についても考慮した設計としています。
0:08:12	続いて、a 事項について説明します。
0:08:17	ページは通しページの 139 ページをお願いします。
0:08:23	先行プラント垢抜けによりロックする設計としていることに対して、島根 2 号では不同分の中で、ウォームギアによってセルブロック。
0:08:33	かかる設計となっています。
0:08:36	セルブロックの概要については、
0:08:38	5 ページの中段にある図 6-2 をご覧ください。
0:08:43	その点を少し説明させていただきますけども、図 6-2 の中で緑色で示しているホーム、
0:08:51	島根 2 号の併走車と、電動または程度操作時に駆動する工藤地区、
0:08:58	になります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:59	一方で茶色で示してる主ホイールの方ですけどもこちらが難波の羽根を回転させるシャフトで柔道側の柔道地区と、
0:09:08	なります。
0:09:10	装置の作動時には覆土軸であるゴムが回転することで、概ね時に沿ってかみ合っているゴムホイールは回転する仕組みでして、
0:09:19	逆にホームホール側から回転させようとしても、概ねネジ山を押し方法。
0:09:25	の方に力が加わって回転をさせてくる。
0:09:28	方法日から変わりませんので、
0:09:30	改善できない構造と、
0:09:33	これがセルフロックという状態になります。
0:09:37	加振試験時においても、
0:09:40	この平易事項によってダンパの羽根がヘッジできていることを確認しております。
0:09:46	続いて手動操作方法についてです。
0:09:50	テレ東の操作方法は各社で異なってますが、
0:09:53	島根 2 号機の閉装置については工藤区にあるハンドルをさせる設計としています。
0:10:00	次のページをお願いします。
0:10:04	表 7-1 に示している加震試験に関するご意見について説明いたします。
0:10:10	実験装置については、
0:10:12	試験体の流量や試験条件を考慮して選定した結果でして、全厚と異なっていますこれも各社行っている。
0:10:23	続いて化審法についてです。
0:10:25	東海第 2、及び柏崎 7 号と同様に、装置は設置高さより上方の床応答を目標として、
0:10:34	個人を設定しています。
0:10:37	また、閉装置の構造が先行プラントと異なっていることから、参考にひずみ測定も実施をしており、有意なひずみが発生しないことは確認しています。
0:10:51	新試験後の動作確認についてですが、
0:10:54	先ほど説明いたしました平時維持機構の相違によって、島根 2 号機の閉止措置には、綿貫センコーのカンザキに相当するサポートがございませんので、
0:11:05	ダンパーの開閉試験の実施によって動作も問題ないことを確認しています。
0:11:11	次のページをお願いします。
0:11:15	加振試験後の気密試験。
0:11:18	についてですが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:20	センコーは試験体前後でさ、試験体前後での圧力差を発生させる方法として、
0:11:28	片側を負圧。
0:11:30	にする方法としていますが、島根 2 号機では、ハタを開発するという方法で試験を実施しており、
0:11:37	まずはこの点が行っています。ただですね差圧を、
0:11:41	圧力差を試験体前後で発生させる維持関係としては、現場設置時の屋内側を低圧側とすること。
0:11:49	その点に関しては相違はないので、同等の試験となっています。
0:11:55	続いて、
0:11:56	すごい。
0:11:57	次のページをお願い。
0:12:00	失礼しました。同様の 148 の 142 ページですけども。
0:12:05	島根の強制開放装置についてです。
0:12:08	島根 2 号の強制開放装置は、水素水素の排出を目的としていますので、
0:12:14	レーバブロック及びワイヤーロープ等の開放治具を用いて、
0:12:18	制度で開放する設計としています。
0:12:21	また開放事業については、通常所原子炉建物の、
0:12:26	屋外外壁の保管箱に収納する設計としています。
0:12:31	以上がBOPプローアウトパネル関連設備の設計方針について。
0:12:37	先行との相違をまとめた内容です。
0:12:40	選考を参考に作成している添付資料と、その他の補足説明資料についても、
0:12:45	記載の相違については、
0:12:47	ものすごい内容によるものとなっています。
0:12:50	当社からの説明は以上です。
0:13:11	瀬戸イワサキですはい。
0:13:14	藤。じゃあ、今のところで、何かご質問、チャミ、
0:13:20	この後に比較表のご説明があるっちゃう認識でいいですか。
0:13:31	中部電力の中嶋です。先ほど説明の冒頭に安納奥川理事長させていただいておりますけども、現状今説明した内容による記載の相違。
0:13:41	比較表の方もらっていますので、
0:13:44	一応当社の考えとしては規格表の相違については個別の説明は割愛させていただこうという考えでしたが、
0:13:52	説明した方がよろしく、よろしいでしょうか。説明をすること、問題はござい。
0:14:06	きちっと岩崎さん
0:14:10	鷲見CTO、ご説明いただいてもよろしいですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:17	中国電力の中島です。了解しました。それでは先ほどの補足説明書で説明した相違理由、主な設備の相違によるところは少し割愛させていただきます、
0:14:29	それ以外の記載の差等の相違箇所について説明させていただきます。
0:14:37	それで比較表の方で、
0:14:40	中部電力原島すみません続けて説明してよろしいでしょうか。
0:14:45	規制庁伊ワサキさんよろしくお願いします。
0:14:53	中国電力の中嶋です。それでは比較表の方でまず 1 ページの 4 ページ。
0:14:58	お願いします。
0:15:04	こちらのですねえと。
0:15:07	上から、
0:15:08	2 行目以降もちょっと推定を追記している。
0:15:11	ところで比嘉工夫しています備考の層位箇所のちょっとページが、
0:15:15	3 ページ目と。
0:15:17	繋がってきてますけども、島根 2 号のオペフロのフロートパネル、
0:15:22	屋外側には竜巻飛来物からの、
0:15:25	フロアートパネル防護するための竜巻防護ネットが設置されていることについて、
0:15:31	添付資料説明を記載しておりますので、
0:15:33	こちらが、
0:15:34	柏崎との相違になって、
0:15:37	おります。
0:15:39	続いて、
0:15:40	下から、
0:15:51	少々お待ちください。
0:16:04	失礼しました中国電力の中嶋です。
0:16:07	そういう理由の、
0:16:09	ポツで下から三つ目の運用の相違。
0:16:13	増築して、東海第 2 と相違を記載している箇所ですけども。
0:16:17	引間 2 号機のオペフロフロアートパネルは、政治isオカノ時ですけども、この時に開放機能に期待していますので、その相違による、
0:16:27	がんについてを記載しています。
0:16:38	続いて、次のページをお願いします通しページの 5 ページ。
0:16:42	ですけども。
0:16:46	一番上の層位理由。
0:16:47	についてですが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:49	12号機のMS刀禰リースのブローアウトパネルをSs機能維持費。失礼しました。Ss地震動でも、維持可能な設計。
0:16:57	そうしますので、そのことについて、柏崎7号と記載。
0:17:02	の方針が相違ということにしております。
0:17:06	同じページの一番下の設計の相違10日1体に。
0:17:11	のところで取り締まりに大きなブローアウトパネルえ装置は、Ss機能維持ありますがこちらも、
0:17:18	変更と記載が異なっておりますので、
0:17:21	そういう、記載の通り設計の相違としてちょっと記載はして、
0:17:28	続いて8ページ目をお願いします
0:17:34	8ページ目の備考欄の最初の層位理由。
0:17:38	場所ですが、
0:17:40	島根2号の竜巻防護ネット。
0:17:43	について、
0:17:44	ですけども、ブローアウトパネル。
0:17:47	この離隔の確保及びブローアウトパネル落下防止チェーンの干渉。
0:17:52	については防止するように設計をしておりますので、
0:17:56	こちらについても記載%と異なっている。
0:17:59	ものになります。
0:18:03	続いてですがちょっとページ進みまして、
0:18:08	23ページ。
0:18:16	こちら23ページのところで、中段の辺りで記載の適正化。
0:18:21	落ちておりますけども、島根2号の閉装置の手動操作については、同操作場所にアクセスできるように足場を設ける設計としますので、その旨を、
0:18:33	その旨の記載を追加するとともに、以降も、設備の総意として記載をさせていた。
0:18:43	続いてページが36ページになります。
0:18:53	こちらは上から二つ目の宗大井。
0:18:57	になりますけども、
0:18:59	先行との相違と指定と試験方法の相違ということで、島根、江藤失礼しました この記載を加振試験。
0:19:06	についての記載になって、
0:19:08	おりますけども、島根2号の加震試験、
0:19:11	では、それぞれ各方向に3軸、
0:19:15	ごとに加振試験を実施して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:17	おりますので、その試験方法について、層位。
0:19:21	として記載をしています。
0:19:25	続いて 41 ページ。
0:19:28	お願いします。
0:19:33	こちらちょっと資料構成の相違になりますけども、
0:19:36	真島根井 2 号の方についてですが、波及影響についての記載について、
0:19:43	島根 2 号のブローアートパネル閉装置については評価上上位のクラス。
0:19:47	手当波及影響の対象外。
0:19:50	という整理ですので、そのことを踏まえての記載の、
0:19:54	相違となっております。
0:19:57	基本的に今ちょっと説明した内容については先ほどの層位の
0:20:01	補足説明資料には入れてはいないのですが、こちらちょっと添付資料上、
0:20:06	の添付資料の記載上での差を、
0:20:09	4 での相違理由として記載しておりまして、
0:20:13	実態としてはちょっと先行が、
0:20:15	どうかっていうところまでは判断できませんでしたので、そこについてはセンコーが作成している先ほど説明した補足説明資料についての、
0:20:23	総意の内容のみを、
0:20:26	補足説明資料の先方との相違点としてはまとめさせてもらう。
0:20:31	説明は以上。
0:20:45	規制庁岩崎です。ありがとうございました。
0:20:51	普通、
0:20:54	盛り返した話じゃないですけどすみません
0:20:57	規制庁岩崎です。
0:21:05	せ、説明資料の比較表社内報の 20 ページのです。
0:21:14	ごめん大したあれじゃないですけど表の 6-6 の
0:21:20	形というか、表の 6 動作経過が発信前って書いてあったのかねーの状態開放からこれ必達です。この矢印の右側ってこれは仲新保の状態を示してる。
0:21:44	中部電力の中嶋です。こちらの表のタイトルの方でも小ぢんまりと記載していますけども単純に過信する前の状態の確認ということで、
0:21:54	過信する前の、
0:21:56	開閉状態を確認して、その加振前からの時点で状態は問題ないっていうことを確認している。
0:22:04	結果を表で示しているものです。
0:22:07	以上。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:09	中国電力のタカノで少し補足いたしますとその矢印というのはですね開放している状態から閉止までの動作。
0:22:19	を示しております、参考で伝道動作時間 45 分書いていますけれども、
0:22:26	それ、開放状態から閉止状態までの動作が 45 秒かかったと、それを加振試験前に行っていると、というような試験結果の表になっております。以上です。
0:22:42	規制庁イワサキさんわかりました。すいませんちょっと私の何かものすごく認識が間違っていたすいません。ありがとうございますわかりました。はい。
0:22:53	次長の吉崎です。岡新保のメンバーは、
0:22:57	34 ページ。
0:22:59	5にあることです。
0:23:10	中部電力の中島です。ご認識いただいてる通りで通しページの 34 ページの表 7-6 に示したのが加振試験後の、
0:23:20	開閉動作の結果となり、
0:23:22	以上です。
0:23:26	院長吉住。これ全く変わってないけども、カチン前とか信号を何も、
0:23:33	変化はなかったという理解でしょう。
0:23:39	中国電力の中島です。ご認識いただいてる通りです。
0:23:45	議長の伊勢北野。
0:23:47	なんだ。
0:23:47	大変不能電流値とかもとってたと思うんですけど。
0:23:51	島根は、
0:23:53	とってるでしょ
0:23:58	中部電力の中嶋です。少々お待ちください。
0:24:17	中国電力の中嶋です。思い出しました。補足説明資料の方の当時ページの 130 ページ。
0:24:24	をご覧ください。
0:24:31	はい、どうぞ。
0:24:32	はい。こちらの表の、
0:24:34	下の下段にある表の方の 3 の方の表で、電流値を策定した結果の記載は、
0:24:41	しております。添付資料側のほうは割愛して、
0:24:45	いる治療構成と現状はなっています。以上です。
0:25:08	規制庁の吉武です。資料はわかった。それは、
0:25:12	電流値はどうさあ、赤信号だけど。
0:25:17	新支援前もある。ちょっとまだ資料見きれないですけど、あるという。
0:25:22	理解でよろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:38	中部電力の中嶋です。
0:25:41	こちらですけども、資料の案と同じ等の 5-3 の中で、事前確認。
0:25:49	として記載している。
0:25:52	要は、上からも、
0:25:54	2 行目にありますか。あと、
0:25:56	3 連発に年何%解体試験対象が書いてある、上のところに、
0:26:01	それぞれ事前確認という、
0:26:03	よくあると思うんですけども、こちらがそれぞれの 2 年と 3 年で、
0:26:07	試験前加振試験前に動作確認をしたときの電流値。
0:26:13	と時間を記載しているものでして、加振試験を実施した後の結果っていうのが、
0:26:19	試験対象でユニデン番場 3 連ダンパの右側に書いてある。
0:26:24	値と、
0:26:27	以上です。
0:26:31	規制庁のインダってその表の事前確認っていうのが、歌人前の、
0:26:37	の充実ということ等であれば少し何か、
0:26:41	何か言葉を変えてるので、少しわかりにくくなってるんですけど。
0:26:45	何か。
0:26:48	合うようにしてもらえませんか。
0:26:52	中部電力の中嶋です。了解いたしました添付資料側と記載の表現を統一するようにし、検討いたします。以上です。
0:27:08	規制庁の井関ですよろしく申し上げます。少々お待ちください。
0:27:57	規制庁のヨシザキで先ほど言動発信前から信号だったんですけど、
0:28:03	首藤の時間は測ってるでしょうか。
0:28:10	中部電力の長嶋です。手動の操作の時間も測定はしております。現状資料中には記載はないのですけれどもまず口頭です。回答させていただきますと、大体 2 分弱 120 秒前後。
0:28:24	で操作をできるっていうのを確認しております。以上です。
0:28:34	規制庁ヨシザキそれは首藤の時間は、なぜ記載してないんですかね。
0:28:40	飛田していただきたいんですがこちらで、
0:28:46	中部電力の長嶋です。
0:28:48	記載を追加することは了解いたしました。現状記載していない理由としてですけどちょっと先行の資料構成となって作成した結果、記載をしていない状況になって、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:59	記載することに何か問題があることではございませんので、記載を追加するように検討いたします。以上です。
0:29:09	規制庁吉崎です。よろしくお願いいたします。
0:29:16	低調な考え。ただ指導の
0:29:20	は、
0:29:21	あと
0:29:23	等でましたけど、
0:29:25	指導できない現状だと、おそらく一括でどうだと思っんですけど。
0:29:30	手動で操作する場合で、それぞれ2年、3パターンあるんですけど。
0:29:36	それぞれ別個に操作するのかそれとも
0:29:39	どこか一つ案取りがあって、それをそうすれば大丈夫かってのが説明いただけますか。
0:29:47	中国電力の中嶋です。
0:29:49	補足説明資料の120ページ通しの120ページ。
0:29:53	ちょっと図も載っていますので、わかりやすいと思うのでご確認ください。
0:29:58	単体の2連段波の反対の図ですけども。
0:30:03	赤丸で囲っている箇所についてが、ハンドル。
0:30:08	操作場所になりまして、
0:30:10	結論から言いますとそれぞれの駆動部ごとに調査を行うというような、
0:30:17	ものになります。手動操作の際はですね。
0:30:20	ハンドル毎に操作、駆動部毎に操作を実施する必要が、
0:30:23	あります。
0:30:25	なので先ほど言われたその中央からの操作の時は先ほどのご認識の通りで活動3になりますけども、手動操作時は、現場でそれぞれの駆動部の部分でハンドルを回すという操作、
0:30:37	以上です。
0:30:43	それと、1個1個やるっていう理解で、認識しました。
0:30:52	その上で電路だと。
0:30:55	47秒とか、
0:31:01	はい。はい。
0:31:04	デンバーまた47秒とか45秒とかになってくると思うんですけど。
0:31:09	それを手動で1個1個やる場合、
0:31:13	その45秒でこれ、
0:31:16	4547ページ全部しまう時間が47秒かかってくると思うんですけど。
0:31:22	手動でやる場合ってその人弱が×何個とかってなって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:26	もう、要は連動で同じ。
0:31:29	全部閉める時間と、どれぐらい差があるのかっていうのがちょっとわからないんですけど、ご説明いただけますか。
0:31:36	中部電力の中島です。手動操作で閉める場合は単純にブローアウトパネル、一つ辺りに対して、
0:31:45	先ほどの図で説明しましたハンドルが、駆動部ごとにあるので、10ヶ所、
0:31:51	ありますので、先ほどちょっと口頭で説明した時間、1ヶ所当たり、
0:31:55	2本弱。
0:31:56	になりますので、全部操作時間、操作時間だけで単純に20分。
0:32:01	程度。
0:32:02	となります。
0:32:04	止まって、ちょっと補足しますが設置許可時点でも説明した内容にはなりませんけども、このブローアウトパネル閉止装置のページ。
0:32:13	操作時間想定時間っていうのが、
0:32:16	当社の緊急時対策所から現場に行って、変え操作完了までっていうのがトータル今2時間を見込んでいますので、
0:32:23	問題なく操作可能っていうことで、
0:32:27	考えております。
0:32:28	以上です。
0:32:39	中部電力の田島失礼しました先ほどのちょっと説明をさせていただきますけど、と、設置許可時点での説明。
0:32:46	調査時間想定の場合はいいと。
0:32:50	2人で、現場に向かって操作しますので、
0:32:54	1人当たり、
0:32:55	それぞれの、
0:32:57	以降、島根の場合は2ヶ所、装置ついてるアイフロントパネルの開口があるんですけども、
0:33:03	それぞれ1人ずつ配置して、操作するということを想定しても、
0:33:07	現状想定で2時間以内で収まる。
0:33:10	という想定になった。
0:33:11	以上です。
0:33:14	以上ナガタ了解しました。
0:33:18	その前同窓会時間、参考で今、記載があるんですけど、同じように書かれる時も同じものが占めてしまう方の経営は、総計の時間とかね、それを、
0:33:29	わかるように記載いただきたいと思っていかがでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:42	中国電力の中嶋です。ちょっと今の、
0:33:47	依頼ですけども、手動操作の、
0:33:51	総合計時間を記載するようになっていうことでよろしいでしょうか。
0:34:03	はい。
0:34:04	院長仲村佐瀬の先ほどの補足で、わかるように説明していただいて、
0:34:13	ヨシザキ 1 た、
0:34:16	首藤の方は時間を、記載をお願いしたいという。
0:34:20	話。
0:34:22	を記載していただいた上で、実際にその指導でかかる時間というのが、どういう意向でやってるのかってのはそこに書いていただきたいんですけど、よろしいですか。
0:34:35	中部電力の中島です。了解しました程度ソース。
0:34:38	さあの、タイムスケジュールのようなものを実際のその試験で確認したときの程度操作時間も踏まえて、
0:34:45	補足説明資料を追加するように検討いたします。
0:34:49	ページを開けず補足説明の方に今の人力の、
0:34:55	2分弱って言ったんだけど全部で何個あるんでとか、想定は2人で2ヶ所を何分でやるから、そういう
0:35:04	なぜイントロというか、そういうところも、概略も含めた上で実際は、こういうふうになりますというのを、一つ、項目立てをしていただけると、すぐ
0:35:15	わかるということで、記載を、記載の検討をお願いいたします。
0:35:22	中部電力の原島です。具体的な内容を説明ありがとうございます。了解いたしました。
0:35:29	兄弟の吉崎です。最初の方に説明あった補足の、
0:35:34	ちょっと飛んでしまっただけなんですけど、その 134 ページ。
0:35:40	国庫での検証リングってあってこれが島ではないってあるんですけど。
0:35:46	ちょっとこのテンションリングとか、どこのこと言ってる
0:35:50	んですか。
0:35:57	中国電力のコウゲです。少々お待ちください。女川の状況を今ひとつ確認しますすいません、すぐに確認します。
0:36:17	中国電力のコウゲです。すぐにちょっと構造わからないんですけどこれは
0:36:22	女川の 2 号の方が当社のクリップ式と違う作動方式になっておりますので、
0:36:32	それに由来する設備になっております。すべり台とかテンションリングとか、そういう構造を歩サトウ方式の多さによって
0:36:43	必要になってる設備と認識しております。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:52	清町の井関です。女川独自の設備なんで、
0:36:57	それは名越金井。
0:36:59	そういう理由ですかね。
0:37:03	はい、中国電力のコウゲです。そういう設備でございますがそういう差異でございます。
0:37:09	東海第2ヶ所エザキ7号を島根2号等を見比べていただければ、同じようになっていることがわかりいただけるかと思います。以上です。
0:37:57	規制庁の伊勢です。
0:37:59	少しありなしで、何であるかないんじゃないかってのを少し、もう少し理由をつけていただきたくて。
0:38:10	今までにはそういう構造ではないからないっていうのは、今わかりました。
0:38:15	少し、これを見ただけでは、
0:38:18	わからないというところで、
0:38:20	当間歩カーのところもそうなの。
0:38:23	もう、
0:38:32	ちょっと3.6です。はい。
0:38:35	フレンドコウゲです。表のご説明を
0:38:41	次のページの135ページの方に一応戸村章では書いてはおりますけれどこれをもう少し補足する。
0:38:51	ようにという、
0:38:53	ご要望でしょうか。以上です。
0:39:30	規制庁吉井です。ここに書いてあるのはそれでOKです。
0:39:35	エンジンリング。
0:39:41	島根はFLIP引きで、
0:39:45	本人がわからなかったから、
0:40:01	とりあえずわかりました。所長。はい。
0:40:37	規制庁の吉武です。
0:40:40	補足の141ページで、試験の方法。
0:40:44	パーキングの気密試験のところで、先行は引いてあるけども島根は開発してやるってことで、
0:40:53	まず何でこれ加圧式を採用したかって、
0:40:59	詳細、この試験方法を選択した理由について説明ください。
0:41:10	中国電力の中嶋です。
0:41:12	あと試験方法の選択理由。
0:41:15	ていう観点。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:41:17	では、
0:41:18	差異はない。
0:41:20	ですけれども試験方法の概要を少し進めさせていただきますと。
0:41:25	通しページの、
0:41:26	同じ補足説明資料の中で通しページ 117 ページ。
0:41:33	ですけれども、
0:41:35	こちらでちょっと機密性の試験についてということで記載がありまして、
0:41:39	ステムの企画、
0:41:41	大本に試験を実施したものでしてこの中では、その試験体の前後で圧力差を生じさせるってということで規定をされておりますので、
0:41:51	鶴主査を生じさせる方法として当社としては、
0:41:57	の設置状態ってところの奥川ですけれどもそちらを開発することで、試験を実施したという経緯になります。
0:42:05	説明は以上です。
0:42:21	規制庁の吉崎です。選択した理由について説明していただきたいんですけど、これまず全厚と同じようなやり方をできなかった。
0:42:33	その辺は説明してもらえますかね。
0:42:48	極力ナカシマで少々お待ちください。
0:43:23	中国電力の中嶋です。
0:43:25	津島根井が試験をした試験。
0:43:29	場所での
0:43:31	準備品として実施できるしか方法として
0:43:36	結果として採用しているその規格は先行と同様なんですけれども、その先行同様の規格に準じて試験を実施するにあたっては、
0:43:46	実際のその試験場での準備できる。
0:43:49	モノマーちょっといろいろ機関だったり、
0:43:52	もありますけれどもそういったものをかんがみて、検討した結果、現状の開発、
0:43:57	記載しております加圧の方法での試験方法。
0:44:01	こうなったという。
0:44:02	ところでございます。
0:44:04	以上です。
0:45:51	規制庁の吉崎です。少し理由がちょっと。
0:45:56	この試験方式にした理由ってのがよくわかったんですけども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:02	実際はそのSEエスティックから、不破津川でやった方が、なんか変わってるような気がするんですけど、やっぱり開発方式でやったっていうことが、ちょっと
0:46:15	理由を説明を。
0:46:18	していただけるでしょうか。
0:46:22	中国電力の中嶋です。基本的にはその試験体、島根の場合で言うとそのダンパの羽根の部分ですけどもそこからの漏えい。
0:46:32	量を確認するっていうことが目的。
0:46:35	でして、そのために試験体の羽根の部分の、
0:46:39	前後。
0:46:41	圧力差を生じさせるっていうところで試験を実施するものでして、
0:46:47	先ほど遊佐される
0:46:49	の奥野油井様、設置した時の屋内側を負圧にするっていう時と、土砂が実施している。奥川。
0:46:58	を加圧するっていうことで、
0:47:00	その負圧加瀬赤塚っていうところの差がありますけども試験体に対して、加わる加圧方向っていうことにはそういう、
0:47:09	ありませんので、知見、
0:47:11	農村の妥当性自体は問題ないという認識になっており、
0:47:17	ちょっとその勝を選定した方、理由っていうのもちょっと先ほど説明はいたしましたけども今のその考えを踏まえて試験、
0:47:25	上で、準備ができるものっていうことで、選定した結果でかつの方法。
0:47:30	選定しているというところです。
0:47:33	以上です。
0:47:51	院長の吉崎です今説明いただいたこともちょっと含めてですね、先行と少し支援の方法がし、違う、何でこうなってるのかっていうのを、
0:48:02	もう少し詳細にですね。
0:48:05	試験装置をその元現地のどこの、どこの試験かわかんないけど、
0:48:10	ここで風圧試験ができなかったのか、何かそういう体制がとれなかったのかっていうのが、ちょっと。
0:48:18	河津試験。
0:48:20	しかできなかったんかっていうのはちょっと呼ばなくて、
0:48:25	要は圧力サーでその羽根の、先ほど説明あった、羽根の打ち方とかね。
0:48:31	圧力差を生じさせて、リークがなければいいっていうことであれば別に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:36	9月でも勝でもいいっていうのは理解はしてるんですけど、なるべくその実態に合わせるといふんだったら何か二つの方が、に変わってるんじゃないかなと思ってまして、
0:48:47	ちょっとその辺を少し
0:48:50	なんていうか、
0:48:55	考え方をですね整理して説明。
0:48:58	いただきたいんですけどもここを、何も何もながら説明なしに、
0:49:02	ただ加圧試験でやってるって書いてあるので、
0:49:04	そこはもう少しその差分の説明では、これこれこういう理由でこれを選定したんだけども、試験としては成立するというのを、
0:49:16	もう少し詳細に説明していただきたいと思いますが、よろしいですか。
0:49:24	中国電力の中嶋です。了解いたしました記載について検討いたします。
0:49:29	以上です。
0:49:41	これいいです。
0:49:49	規制庁イワサキでさ、すいませんちなみに高見本郷のあれなんで、100、117ページの
0:49:57	ところでこの試験の説明って、ラック数学試験って書いてあるけど、何か、これは何か負圧試験、要するにやってらっしゃるのか。
0:50:06	加圧の試験で開発した試験を、日本語として、
0:50:11	不圧での縮圧試験ですけどこれは、
0:50:15	要するに空気の流れ、一方方向だから、
0:50:19	ていう。
0:50:20	だから、負圧って言うだけってことで、
0:50:26	上部電力のナカシマです今ご指摘いただいたのは117ページの一番下の記載と、次のページのグッズの記載だと。
0:50:36	いう認識ですけども、実際の試験方法としてはおっしゃる通りで、
0:50:42	正圧、
0:50:44	工事、加圧をしているものですのでちょっとそこの記載の方についても
0:50:50	記載を合わせる方向でちょっと検討させていただきます申し訳ございません。
0:50:58	規制庁イワサキわかりました何かあまり私が特にそんな甲田にあるわけではないんですがちょっと、
0:51:06	そうですねその辺も踏まえて、
0:51:10	関沢伊井と見直していただければ、
0:51:12	はいどうぞ。
0:51:26	それとナカムラです。92ページの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:30	曜日調整会をそっち。
0:51:36	東海提携とは設置目的が違うというお話があったと思うんですけど、ちょっと詳しくご説明いただきます。
0:51:53	中部電力の中嶋です。
0:51:55	あと島根の2号の
0:51:57	目的について先ほどちょっと説明の中で、口頭でご説明させていただきましたけども、
0:52:03	基本的にはその推奨水槽排出の自主設備として、
0:52:08	設置しているものになります。一方で、東海第二と柏崎7号の方ですけども島根と同様の
0:52:17	水素排出の実施設備っていうものには位置付けておりませんのでそこについては、設備の相違と、
0:52:23	目的の相違があるということで、
0:52:26	そういう箇所として抽出しているものでございます。
0:52:31	以上です。
0:52:34	院長仲村です。目的の違うっていうのは、名があったんですけど、それによつて
0:52:42	シャドー公式が間違ってるんですけど、
0:52:47	その目的診断からサトウ星が違うっていう理解でよろしいですか。それであれば、
0:52:53	どういう理由で候補者が違うのかっていうのも含めてご説明いただきたい。
0:53:03	中部電力の永島です。ちょっと少々お待ちください。
0:53:22	中国電力の原島です。
0:53:25	あとちょっと先行との差、佐野。
0:53:28	佐渡具志堅まで違うかっていうところでちょっと先行の方の、
0:53:31	車道の選定理由ってのは細かくわからないんですけどもちょっと島根の方の、
0:53:37	な考え方を説明させていただきますけど先ほど説明した通り水車対策の自主設備として用意しているものでして、そもそもそのSA設備としては、
0:53:46	パート、あと、
0:53:49	格納容器イベントっていうテーマ手順を用意して、
0:53:51	おりますので、それでも水素が低下しないっていう、傾斜等低下しないような場合にさらなる対策の位置付け、
0:53:59	どう自主対策設備としてですけどもブローアウトパネルの開放手順を定めているものでして、その時にももちろんこの強制開放装置、
0:54:07	なってます。でも実施する時については作業安全と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:11	考慮して実施が可能であれば、実施するっていうところで考えておりますので、
0:54:17	ブローアウトパネルを開放できるっていうところの目的。
0:54:20	こちらも程度操作、
0:54:21	で対応するっていうことになっております。
0:54:26	すみませんちょっと説明が、
0:54:27	あれで。
0:54:35	なんか思うけど、
0:54:42	ナカムラ多分変更は、おそらく、
0:54:48	環境改善目的で、三野Pが、
0:54:52	正しくわからない時に、
0:54:55	これを使ってですね、やるっていう想定だと思うんですけど。
0:54:59	島根の場合は、
0:55:02	環境改善というのは圧力が上がってる上がったように関係なく、パトカーインターネットで水素が抜けてないっていう時に、
0:55:15	例えば三上開放するっていうふうにして欲しい。
0:55:21	中部電力の中嶋です。ご認識の通りでして島根の場合は屋内の圧力が炉の原因でブローアウトパネルを開放していない場合でも、水素濃度、
0:55:33	場等があっても、仮に上昇し、
0:55:37	行った場合には、あの程度で開放するというような手順のための措置として設けています。
0:55:41	以上です。
0:55:45	金城仲間です。わかりました。ちょっとその、これ多分、ここ単位の説明のところじゃない。
0:55:55	強制開放装置の名簿に分かれてるんですけど。
0:55:58	これもその際があるということでしたら、
0:56:03	本当なんかどうし指導をとってる、島根が素人っていう意味も含めて、
0:56:09	ですね
0:56:11	全国のサインを記載いただければと思うんですけどいかがでしょうか。
0:56:19	中部電力の中嶋です。了解いたしました8×1の再カシマ詳細強制開放の最初の詳細について、
0:56:27	記載の充実検討いたします。
0:56:29	以上です。
0:56:30	院長永松よろしく申し上げます。
0:56:34	議長の吉井です。今ナカムラのあれ、質問、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:39	少し同じような質問なんすけどこれって手順、
0:56:44	構造だとか手順とかっていうのは、ここの資料にはないんですかね。
0:56:50	ちょっと見つけれなかった。
0:57:02	ちゆ。
0:57:03	すべてです。
0:57:05	補足説明資料通しページの 132 ページ。
0:57:10	の方に、強制開放装置の概要図を、
0:57:15	載せております。
0:57:17	こちら見ていただきますと、衛藤オペフロブローアウトパネル、
0:57:22	にワイヤーロープをつないで、
0:57:25	その先にリバーブロックと呼ばれる治具を用いて、引っ張りを外側に引っ張ってワイヤーを緊張してあげるような構造となっております。以上です。
0:57:39	規制庁ヨシザキですか。ここにあったんですね。わかりました。ちょっと教えて欲しいのはこれ、もう来やるってのはもともと、
0:57:47	なんていうか、設置されてるところも何かね。
0:57:51	どこまでが設置されてどこからつけるのかって説明
0:57:58	中国電力のコウゲです。
0:58:00	先ほどの補足説明資料、132 ページですけれど、図に書いてある図の 2-2 に書いてあります、接続用ワイヤーロープ上の部分ですね。
0:58:14	これは図の、オレンジ色のブローアウトパネルのにすでに常時設置しております。
0:58:25	これに先ほど保管箱に入れたワイヤーロープを持ってきて、ワイヤーロープ、ワイヤー接続と書いてある部分がありますけれど、
0:58:37	ここで言って接続します。上側のワイヤーロープはそういう接続をしまして、下側にもワイヤーロープ、上と下で両方引っ張ります下側のワイヤーロープは。
0:58:50	保管場所から持ってきたものをブローアウトパネルに直接つなぐということです。これをワイヤーノートで展張して運営して、引っ張って開けると。
0:59:00	いう構造になっております。以上です。
0:59:05	議長の吉崎です。大体わかった
0:59:09	できたんですけど。
0:59:10	上のほうは設置済みでした方は、
0:59:14	たばこも設置済み。
0:59:15	という説明でしたっけ。
0:59:18	中国電力のコウゲです。下の方のワイヤーロープは保管箱から持ってきます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:25	はい。それと接続用補助ワイヤーロープで、上屋接続した先テーパブロックに繋がるものも、保管箱に主要 3。
0:59:36	物を持ってきて接続します。したがいまして、は、オペフロDOPにそのまま取り付けておく。常時設置しておくというのは、上の部分の接続用補助ワイヤーロープ、この部分だけでございます。以上です。
0:59:52	規制庁の伊勢です。わかりました。
0:59:55	ちょっとその辺がわかるように追記をしていただきたいというのと、これはブロックってこれ二つあるんですけど、この二つ同時に緊張する、
1:00:07	手順になるんでしょうか。
1:00:13	中国電力のコウゲです。このレバーブロックにつきましてはここでは上としたと二つ。代表で書いておりますけれど、ワイヤーロープは上に 4 本、下に 4 本、計 8 本ありましてそれをそれぞれ
1:00:30	谷津のプレーバブロックで引っ張るということになっております。そのやつを同時にさ、操作するということでこじ開ける、そういう手順になっております。以上です。
1:00:44	規制庁の打田です。
1:00:46	今の説明だとその上 4 本とか 4 本で、
1:00:50	同時に引っ張るってのはこれ 1 人でできるんでしょうか。
1:01:02	すみませんでした中国電力のコウゲです。申し訳ありませんですね、同時に引っ張るといったものはすみませんこれ 4 人での操作を考えておまして、上と大下と開放状態を見ながら、上 4 本下 4 本を、
1:01:18	交互に引っ張っていくという、そういう操作手順になっております。以上です。
1:01:36	規制庁の義崎です。今のご説明、踏まえて少し、
1:01:42	この資料を拡充していただきたいんですけどよろしいでしょうか。
1:01:50	中国電力のコウゲです。そうですね。131 ページの 2 ポツに続きまして、2 ポツの内容を拡充するか、操作手順というようなものを、
1:02:00	3 ポツで入れるかそういう追記をさせていただきます。
1:02:04	以上です。
1:02:07	清町ヨシザキでお願いします。それと 2-2 の図の真ん中のところに、
1:02:12	接続用補助ワイヤーロープ、
1:02:17	暫定固定一番。
1:02:19	布袋一乗寺って心は何を言ってる。
1:02:25	中国電力のコウゲです。先ほどの接続用補助はエアログ上部についている部分ですけど、これを常時オペフロブローアウトの外面に設置しておくということで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:38	その設置位置を示したものです。ですからこの点線が、その位置を示しております、
1:02:46	上がプロアウトパネルに接続する部分で、その下は固定している位置を示しておりますが、ワイヤーロープのした店長一井藤をかぶるような位置まで線を引っ張っております、
1:03:03	何か
1:03:05	意味があるように見えますので、もう少し上で止めたような図にですね、変更したいと思う。修正したいと思います。
1:03:11	以上です。
1:03:22	規制庁の吉崎です確認だけですけど今、
1:03:26	言われたのは鉄族用補助やロープが上から垂れてくんでそれを固定するための1という理解でよろしいですか。
1:03:37	中国電力のベース残り、ご認識の通りです。固定して常時そこにあると、位置を示しているものです。以上です。
1:03:51	規制庁の吉崎です。理解しました。
1:03:55	少々がたい。
1:05:11	規制庁の井関です比較表も持ってるけども、私の方なんですけども。
1:05:18	最後のところで、5ページ。
1:05:23	先ほど来ページで、
1:05:28	Msトンネル室のグラウドパネルは、基準地震動Ssでも開放しない設計であるんですけど。
1:05:35	全厚麻生ではなくて、今までは数、
1:05:42	SDもう配合しないことによる影響ってのは、
1:05:47	これは何ですか、この影響評価みたいなのは、どこが記載してる、どっかに規制説明が記載されているんでしょうか。
1:06:09	中部電力の中嶋です。
1:06:11	ここの記載の方針の相違についてですけども、実態としてはすいませんまずはその影響評価、MS&SフロアパネルがSs地震動を開放しないってことの影響評価については、
1:06:25	今の現状の資料中には特段の記載が、
1:06:27	あるものは、記載箇所はないです。で、記載の方針と設備の相違ではなくてですね記載方針の相違として、
1:06:36	柏崎7号としてますけども実態として柏崎750補足説明資料、すみません柏崎の7号の方の補足説明資料の中で、
1:06:45	見えるところで、とですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:06:47	島根の補足説明資料でも確認が同じ記載にはなっていますので、確認。
1:06:53	奉仕ページの、
1:06:56	9 ページ。
1:06:58	策説明しよう。
1:06:59	表の 6。
1:07:01	いうものがあると思うんですけども。
1:07:05	この補足説明資料の 4-1 っていう資料も基本的に
1:07:10	各社皆同じ。
1:07:12	整理の記載になっています。要求し事項の視機能の整理というところで、
1:07:18	この中でプロアートパネル関連設備という一番左端の列のMsトンネル室、
1:07:23	EOPと記載してある。
1:07:25	場所で、重大事故等対処設備。
1:07:28	この 50 条地震です。ところで、0 で注記 1 が、
1:07:34	読んでると思うんですけども、こちらのSDで、
1:07:39	実態としてのスズキのSsでも提示が可能な設備を保有するっていうことを記載しておりますけども、これ
1:07:45	場所的なのも同様の記載。
1:07:48	決して補足説明資料 9 は、なので、設備設計的には相違がないということで、
1:07:54	柏崎 7 号と記載方針の相違と、
1:07:57	記載して、比較表で記載しているところ。
1:08:00	です。
1:08:08	すいません説明は以上です。
1:09:18	規制庁の吉武です。少し確認だけなんですけど、この柏崎と方針は、
1:09:24	同じ設計方針は同じという理解でよろしいんですか。
1:09:31	中部電力の中嶋です。当社の資料中から、柏崎 7 号の記載を見ての判断ですけども、設計方針としては同じ。
1:09:40	認識です。
1:09:41	以上です。
1:09:51	城電力のナカシマすみませんちょっと続けてですけども現状今ご指摘いただいた補足説明、失礼しました。比較表の、
1:09:59	通しページの 5 ページの部分の柏崎他の記載方針沿いとしている、記載箇所ですけどもちょっとこちらは今、ちょっと記載詳細。
1:10:07	いろいろ確認したところで項目自体がですね
1:10:12	当市の比較検討書の 4 ページ。
1:10:14	3 ポツのところ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:17	ブローアウトパネル関連設備の要求機能。
1:10:20	落ちて整理する。
1:10:21	所。
1:10:23	の項目ですので、
1:10:26	そこの要求機能要求機能という観点でいくと、先ほどちょっと補足にもご説明しましたけども、
1:10:32	要求機能上は、
1:10:33	弾性設計用地震動のSDで開放しないってところに、
1:10:37	なりますのでちょっと今、現状島根の記載。
1:10:41	がですねちょっと設計法人。
1:10:43	に踏み込んだ。
1:10:44	記載と。
1:10:45	なってる。
1:10:47	のが実情ですのでちょっとこの記載、今実際引いてる。
1:10:51	記載についてちょっと再度記載を検討させていただきたいなと思い
1:10:55	以上です。
1:10:59	日吉です。設計方針が一緒何行が違うのかなかなと思った。
1:11:04	そうですね。確認して、適正化を検討してください。
1:11:17	中部電力中島です。了解いたしました。
1:11:27	規制庁仲村です。その確認だけで、113 ページも、
1:11:37	予備費装置の開放委員会には、操作は中央から遠隔操作により実施する。
1:11:45	記載があるんですけども、
1:11:48	おって、センコーも同じような記載にはなってるんですけども、あんまりによる主、手動操作の記載ってのは不要なんでしょうか。
1:12:05	中国電力の中嶋です。手動操作についても一応この 3(3)のブローアウトパネル装置の中で、今言っていたいた、
1:12:15	記載よりちょっと上のパラグラフになりますけども。
1:12:20	その中で、最後の、
1:12:23	2 行目ぐらいのところからですが羽根をアクチュエーターまたはどうハンドルにより作動させ、ブローアウトパネル開口部を閉止する設備であるってということ。
1:12:31	記載はして、
1:12:33	おりますけども。
1:12:35	これではなくて、
1:12:36	その下段の中央制御室からの遠隔操作っていうところにもう一度その手の操作の話。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:43	記載をするべきだというご指摘でしょうか。
1:12:49	見通しはそうなんですけど、
1:12:56	両部。
1:12:58	要はこれができますっていうふうに書いてあって、
1:13:02	下部の方では、しますっていうふうな意味の記載。
1:13:06	だと思ってるんですね。
1:13:08	できますっていうのは、これは
1:13:11	遠隔操作等、指導半分だと思うんですけど。
1:13:14	実際にしますっていうのが、遠隔操作しかりないので、それはなぜかなというのが、長期になったっていう。
1:13:23	ちょうど力のナカシマです。ご審議、了解いたしました。記載を検討いたします。
1:13:29	以上です。
1:14:25	店長中田です。単純に1基ほどちょっと話をご説明いただきたいんですけど。
1:14:31	社長の4ページで、
1:14:35	原子炉建物内外SURCでオペフロが設計だと6.9kPa以下で、
1:14:41	メート普通の方は、適正SURC7.3億キロワット以上12.2698以下というふうに記載があって、
1:14:49	そもそもそうなんですけど、なぜこれMSTトンネルが、以上の以下の、
1:14:56	設定をしてるのかっていうのを教えていただきます。
1:15:03	中国電力のコウゲです。Msトンネルスルー。
1:15:10	農法。
1:15:12	設計サイズ、につきましては、これは実際に使いますパネルの仕様を仕様の開放圧力の上限下限。
1:15:26	を書いております。
1:15:29	以上です。
1:15:58	規制庁仲間です設計サービスっていうのは例えば
1:16:04	SDで持つのは7.36以上とかそういうことではなくて、落丁パネルのメーカー値っていうですかね。
1:16:14	中国電力のコウゲです。その通りでございますただSDSSで開かないっていうことを確認する目的としましては下限値。
1:16:25	設計用札の下限値の方を、判断基準として用いております。以上です。
1:17:08	規制庁、ちょっと私も混乱しまして個別の事業経費の頭のNTメッシュの方なんです。
1:17:17	池ってなってる理由が説明いただけますか。すいません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:28	中国電力のコウゲです。
1:17:31	今ご指摘を、ちょっと質問のご確認な確認ですけれど、今ご質問いただいたのは、
1:17:40	オペフローの設計差圧が、
1:17:44	6.9 キロ以下である。
1:17:47	kPa以下であることは、以下となっているのはなぜかというご質問でしょうか。
1:17:53	以上です。
1:17:55	規制庁等が、それもなんですけど、MSTンネル室の方の 12.26KPa以下になってるのは、
1:18:04	上限値で設定している理由を教えてください。ちょっと私差圧がこれ以上だと。
1:18:12	まずいので、それ以下で開くのかなと思って読んでたんですけど、先ほどのメーカースピーチとかという話があったので、市長もその設計札っていうのを設定している理由を、
1:18:24	教えてくださいと。
1:18:34	中国電力のコウゲですが、ご指摘いただきました通り以下となっているところにつきましては高齢、内圧を抑えるために開放しなければいけない。
1:18:46	ところがございますが内野通開放の設定値といたしまして、メーカー歩調を採用しておりますのでその数値を記載しております。以上です。
1:19:43	規制庁の吉崎です。メーカー設計値というか保証値で、今の若い
1:19:50	何だ、7.36 から 12.26。
1:19:54	そのあたりで、ラプチャーパネルが破裂するように設計してるのが、それはあったんですけど、条例の設定の仕方
1:20:04	でどうなってるのかっていうのが、質問なんですけども。
1:20:20	中部電力の中嶋です。
1:20:22	江藤補足説明し、
1:20:24	医療の方でもちょっと、
1:20:27	どうする資料、
1:20:29	参考になる資料がある人はあれ少々お待ちください。
1:20:42	中部電力の中嶋です。補足説明資料の 91 ページ以降のところちょっと原子炉建物内の圧力解析。
1:20:51	実施した資料が、
1:20:53	ありますけども、
1:20:55	ここで次のページの解析条件ということの表もありますがこの中の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:00	下段、ナンバーで言うと4のところそれぞれフラットパネルの開放圧力っていうので、それでちょっと保守的に
1:21:08	上限値を期待、仕様上の上限値それぞれのプロファイルの集中の上限値を記載してますけども、それで開放した場合、
1:21:18	PCV開発、設計開発に対してそれを下回ること。
1:21:22	を確認しているっていう資料なんですけども、一応その、
1:21:26	すみません
1:21:27	上限値見比べるのMSパネル室の12.26っていう上限値の設定っていうところが、これによるものかっていうところをはっきりちょっと。
1:21:37	営業できないんですけども基本的にはそのPCV設計開発、
1:21:41	等を考慮してその、
1:21:43	規定の圧力、
1:21:44	今で言うとその12.26で開放する。
1:21:47	ということを、以下で開放することであれば、
1:21:50	PCVの設計開発を上回らないという結果になってますので、
1:21:54	浅香さんのちょっと設計上の、
1:21:57	条件。
1:21:59	というような扱いになろうかと。
1:22:01	思います。
1:22:02	以上です。
1:22:23	形状のヨシザキです今の説明で大体わかったんですけど、要はPCVの開発がMLBで蒸気が出て、開発がこの12.26に至る前に、
1:22:37	開放するということを目的に上限が決まっていると、そういうことで、
1:22:46	中国ではナカシマですご理解いただいた通りで、
1:22:50	以上です。
1:22:57	金城中林、ウェブムービーOPの6.9kPaもう、
1:23:04	ちょっと同じような考えで、上限値を決める。
1:23:07	てるっていうかね。
1:23:12	中部電力の中島です。ご認識いただいた通りです。でして、基本的なSD。
1:23:18	では開放しない。
1:23:20	普通先ほど説明しましたそのPCVの設計がですね。
1:23:24	エヌエルビー、一番
1:23:27	最大活用。
1:23:28	発生するような事象を考慮しても、クリアできるっていうところで、6.9キロを設定しています。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:41	院長ナガタ了解しました。ちょっとご説明を記載いただきたいんですけどもよろしいですか。
1:23:54	中部電力の中嶋です。ちょっと説明の記載箇所としては、添付資料内に記載した方がよろしいでしょうか。
1:24:08	規制庁がなかなか上任せをしますけど、ここは補足 2、一括についてあるので、
1:24:19	コメント名称、上限等、上限の理由づけというか、設定した意味っていうのを記載いただければと思いますが、いかがでしょうか。
1:24:30	常務電力の中嶋です。了解いたしました。再検討いたします。
1:24:34	以上です。
1:24:41	あと少々なさい。
1:25:11	院長ナカムラですねと
1:25:15	7月の8ページこれちょっと細かい話であるけど、
1:25:20	落下防止チェーンの話がその他で出てきてね。
1:25:27	落下をしてみて、別納BPR方針で基本落下設計とするって形で、またの下にあるんですけど。
1:25:37	竜巻防護ネットを、
1:25:40	は、
1:25:41	伊賀区画整理設置し、落下防止にてオペフロ用P開放の干渉防止設計をする過程で、これ、日本語の問題だけなんですけど。
1:25:51	竜巻防護ネットは、落分7にて、オペフロBB開放初回消防車席。
1:25:57	募集設計とするって書いてあるんでこれだけ読むと竜巻防護ネットに落下防止権があってそれで、
1:26:04	によって覚えるのとの間を超えるDOPの干渉を防止するっていうふうに読めるんですけど。
1:26:10	それは、
1:26:12	認識あっても、
1:26:15	中国電力のコウゲです。ご指摘ありがとうございました。主語と述語 5。
1:26:21	が、一つあってない。いいっていうのは
1:26:27	今思いました。はいここをちょっと。
1:26:29	修文を検討したいと思います。意義といたしましてはご理解いただいているとは思いますが、
1:26:39	竜巻防護ネット等は十分オペフロから離れた位置に設置をしています。それでオペフロブローアウトが開放時にオペフロプレートが外に飛び出してきた飛び出しでも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:53	竜巻防護ネットを干渉しないように、落下防止チェーンでそこまで飛ばないようにするという、趣旨でございます。そのように読めるように文書、直したいと思 います。以上です。
1:27:12	規制庁の唐沢新さん。はい。そのような形で集計をお願いします。
1:27:21	中国電力了解です。コウゲです。了解いたしました。
1:28:14	成長のヨシザキですけど。
1:28:16	最初の方に工認記載箇所訂正、訂正、適正化箇所か。
1:28:24	5番のところで、
1:28:27	何だ。
1:28:30	新荷重を応答説を踏まえた値の適正化というのは、
1:28:36	アビル、
1:28:37	どう、どう、まず何でそうしたのかというのと、この値を算出した。
1:28:43	過程を説明してもらえましょう。
1:28:50	中国電力のコウゲです。5番の箇所の理由ですが、
1:28:59	もともと書いておったのが、剛構造物に用いられる設計荷重、地震荷重を算定 するための最大応答加速度通称ZPAと呼ばれているものですがけれど。
1:29:13	お礼に重量を掛けて、評価した値を書いておりますが、補足説明資料の、
1:29:26	78 ページ。
1:29:31	すいません。76 ページ。
1:29:36	方法を見ていただきますと、
1:29:42	文章の、
1:29:44	一番下の辺り。
1:29:48	で、
1:29:51	下から4行目あたりからラプチャーパネルの一次固有周期を記載してありま す。これを見ますと5構造と判定できない。
1:30:03	20平米数を下回るというものになっておりますので、最大応答加速度ではな くて、床応答スペクトルに基づいた等、
1:30:15	設計を評価用の地震力にするのが適切であったというふうに、打つべきであり ましたので、数値を変更をしたものです。
1:30:27	100先ほどの算定の過程は、
1:30:35	ちょっと、
1:31:02	中国電力のコウゲです。算定の過程といたしましては、補足説明資料を、
1:31:10	の35ページ通しの35ページでございますが、
1:31:14	(3)の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:16	2 ポツのプローアウトパネル収益配管プローアウトパネル(3)の基準地震動Ssによる開放荷重荷重、地震荷重、
1:31:28	方法の算定が書いておりまして、コウゲいう新しく来いい値変更しました、0.133。
1:31:36	が
1:31:38	括弧書きの中の計算過程によって算出されているということを記載しております。
1:31:47	水平震度については、北栄評価の診療所といたしましては 25 時を考えているというものです。以上です。
1:32:53	規制庁の義崎です。
1:32:55	説明はわかりましたけど、ちょっと5じゃないか何だ、起こっていくという。
1:33:04	床応答スペクトルを踏まえたやつにしたっていうことを、
1:33:08	ちょっとわかるように明確にして欲しいんですけど。
1:33:13	変更したということ。
1:33:14	だから、
1:33:16	今 35 ページのところでもいいんですけど、
1:33:23	そもそもZPAやってたけども、
1:33:28	方法じゃないから。
1:33:31	こういうふうにしたと、いうことがわかるように何か。
1:33:34	なんか米でもいいんですけど。
1:33:39	注意書きしていただくことは可能でしょうか。
1:33:44	中国電力のコウゲです。
1:33:47	おい、ご趣旨としては、あと、
1:33:50	本人の適性カーでございまして適正化仮称をの資料の方のNSDの他の032を拡充するっていう方。
1:34:02	は、適切っていうのも、あり、あるかなと思うんですが。
1:34:08	この点補足説明資料、
1:34:11	ホー02020に記載するのが、
1:34:18	よろしいでしょうか。以上です。
1:34:32	中国電力のコウゲです。変更したというのは、
1:34:36	これ、修正前の方が間違っていた、適正でなかったということでございます。重要なものを評価するのは、
1:34:47	修正後の値が適切だと思いますので、それが欠けてなかったという修正になります。以上です。
1:34:59	規制庁の義崎ですがわかりました。先ほど言った。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:35:03	何だっけ、NS新野他の 032 のところを、
1:35:08	今の理由を詳細に書いてもらって、反映したやつはこのままということで、この ような修正で、
1:35:18	お願いします。
1:35:20	中国電力のコウゲです。了解いたしました。
1:35:45	はい。
1:35:47	議長ナカムラですねと比較表の、
1:35:50	10 ページの、
1:35:52	頭に音律装置の自然現象及び人為事象への、
1:35:59	対応設計の話なんですけど。
1:36:03	括弧椎野課税及び竜巻の荷重で、
1:36:09	課税による、
1:36:12	数を解放時、DOPの、
1:36:16	最後には、風荷重こうです、試設計するっていう記載があつてね。
1:36:21	小牧については、風荷重効率間接に薬液を返せって言って、
1:36:26	例えばギブミー解放時の飛来物への考慮っていうのは、必要ないん。
1:36:39	中国電力の中嶋です。ブローアトパネル開放時のその飛来物についてですけ ども屋外に竜巻防護ネット。
1:36:47	が設置されていますのでそれによって、
1:36:50	影響については考慮している状況です。以上です。
1:36:56	議長仲村です。おそらく
1:37:00	そうだろうなと思ってましてね、Bを引いてるか病院の悪い。
1:37:08	7 ページですかね。
1:37:10	7 ページには、設計飛来物の衝突の防止を設計とするっていうふうに書いてあ るんですけど。
1:37:18	これも竜巻防護ネットによってっていう話だと思うんで、同じような記載を、開放 時には、
1:37:26	そぐう運用経費装置も、竜巻防護飛来物の考慮をされると思うので、そこはち よっとわかるように書いていただきたいと思うんですけどいかがでしょうか。
1:37:51	中国電力の高野です少々お待ちください。
1:38:11	中部電力の中嶋です。了解いたしました。記載について検討いたします。以上 です。
1:38:21	規制庁仲間ですすいません今土肥所長の画面とか普及所のもんであれなん ですけど。
1:38:28	もともとこれって、利用機関法人に

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:34	希望ネットがないと、平井部長があつてあるんですかね、平荘津久井は。
1:38:46	常緑の中島です。ご認識の通りでして竜巻防護ネットによって飛来物。
1:38:52	について、放置している設計です。以上です。
1:38:56	規制庁はわかりました。
1:38:59	ようなことが記載の追記だけでございますのでよろしくお願いします
1:39:05	中国電力中島です。了解いたしました。
1:39:29	院長の石崎です。
1:39:31	本体の企画じゃないホール本体げっ専用の資料で、
1:39:38	3、30 ページ。
1:39:42	停止装置の構造計画っていう図というか表みたいのがあって、
1:39:49	ちょっとここ、確認なんですけども。
1:39:53	そういう意味では、診断なってんですけど倉庫causeって一部しかなくて、畦全体。
1:40:00	全体がないと、ここは何を示してるのかってわかんない。
1:40:06	で等もう一つ下にある個数なんですけど、
1:40:10	これは
1:40:12	本当にいいんでしょうか。
1:40:15	124 であるんだけど、
1:40:18	これが、
1:40:19	なんだ、閉止装置の
1:40:21	個数ではないと思うんですけど。
1:40:23	何か表現の仕方ってあっても、
1:40:27	1 個につき、
1:40:29	24 枚の羽根があるという理解だと思ったんですけど、何か工数 24 だと何か、24 衡平措置があるような、そんなイメージになってしまうんですけど。
1:40:39	これはいかがですか。
1:40:43	中部電力の中嶋です。現状の記載の工数も含めてですけど、すいませんまず案の説明図の方についてはちょっと記載も検討いたします。
1:40:53	まっすぐの表現についてですけども現状
1:40:57	バンパー一つ。
1:40:58	がダンパーがその開口に幾つついてるかっていうところの総数を記載。
1:41:05	しております、オペフロDOP箇所当たり 24 ナイトウで 2 ヶ所で、48 という記載に、
1:41:12	しております。このほとんどちょっと考え方記載の仕方ですけどもちょっと同じ屋内設置、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:19	要は駒田みたいな形はうちで言うとその羽根の部分ですけども、その開口部が複数校設置するっていう行動。
1:41:27	検討されてたのが先行で女川2号がそうだったと思いますけどもちょっとそちらを参考に、個数の書き方については、
1:41:37	記載していたところ、
1:41:39	です。
1:41:39	以上です。
1:42:01	あ、規制庁の吉田です女川の報告を見ててですね、何か一色って、
1:42:10	そうそうそうなのかなと思っていて、
1:42:14	ここあたりに、
1:42:17	同じような、
1:42:34	ただ女川の方を参照していただいて、どうやら個数やらを少し、確認いただいて、このままでいけるんだったら今後でもいいんですけど、少し
1:42:48	確認して、適正化を記載、図って、
1:42:55	中部電力の中島です。了解いたしました。
1:44:25	規制庁の石飛ですけど。
1:44:27	これも工認の、
1:44:31	規制適正化のところの、
1:44:35	ナンバー9のところなんですけど。
1:44:38	ここでその家族の数値を適正化したっていうのは、
1:44:42	これはな。
1:44:44	何か矢内に。
1:44:45	適正化したのか。
1:44:47	ちょっと、該当するページがマスキングなんで気をつけて説明してもらえますか。
1:45:03	中国電力ミヨカワです。
1:45:05	とNo.9の適正化内容につきましては、適正化前は、試験結果と茂木は、
1:45:13	のレベルの比較を実施していたのですが、適切な内容としましては、試験結果と設計用の震度。
1:45:21	を比較するのが適正かと思いましたが、そういった内容に直した。
1:45:25	こういった内容となっています。以上です。
1:45:48	説教という説明をしたけど、茂木カトウ。
1:45:52	設計を新藤。
1:45:56	この表の、
1:45:57	二つある。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:59	項目、設計用震度動加振実績。
1:46:04	これを変えたことで、
1:46:09	中国電力ミヨカワです。ご認識の通りです。以上です。
1:46:17	大本。
1:46:24	規制庁の井関です。これのどこが茂木払ったんですかね。最初は、
1:46:30	中国電力三尾%です。現在の規制の設計を震度 1 と記載されてる部分が適正化前は茂木側の情報が入っておりました。以上です。
1:46:53	規制庁もう少し詳しくしてしまうと茂木がから、今設計を震度に変えたことによって、どうな。
1:47:02	たっというのを説明できる。
1:47:09	中国電力のクラムスです。ちょっと茂木はについてまずご説明させていただきますので、本日の補足説明資料の方の通しページの 104 ページ 105 ページに、
1:47:23	今回の加振試験に用いました、模擬地震は、を記載しております。
1:47:28	105 ページをご覧くださいますと、こちらに模擬地震はの応答スペクトルを、島根 2 号の設計を床応答スペクトル 1。
1:47:38	と比較した形でお示しをしております、模擬地震は、設計床応答スペクトルを上回るような、
1:47:45	模擬地震は、として作成をしてこれを加振試験に用いるということで模擬地震は作成しております。
1:47:51	で、それを踏まえまして先ほどの添付書類の方の 33 ページの表 7-4 でございますけども、当初の記載では、
1:48:02	このように作成いたしました加振試験用の模擬地震は、に対してそれを上回る実際の加振がされているということをこの表の 4 で比較するような形でお示しをしております。
1:48:13	一方で、
1:48:16	最終的に、やはりここでお示すべきなのは、島根 2 号機としての Ss の設計を震度一番に対して、実際の加振が上回っているということを、茂木清茂木自身は書いた図に直接お示しの方が妥当であろうと。
1:48:30	考え判断いたしましたので、表 7-4 を現在のような形に見直したというところがございます。以上です。
1:48:44	規制庁の内田です。今まで
1:48:47	2 回、
1:48:49	ちなみにその問診カトウ、今の設計震度ってのはどっちが大きいんです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:02	中国電力のクラムスです。はい補足説明資料の方の通しページ 105 ページを開きもう一度ご覧いただければと思うんですけども、こちらに応答スペクトルの比較をお示ししております。
1:49:15	設計用床応答スペクトルが点線に対しまして、今回の加振試験用の模擬地震はの、目標スペクトルがこの実線でございますので、
1:49:25	基本的に目標、模擬地震はの方が上回っているような波を設定しているというところでございます。実際の歌人では、さらにこの模擬地震は、を上回るような加振が行われているということを計測されたデータから確認しているというところでございます。以上です。
1:50:16	チーフ、何となくわかってきました。
1:50:19	不可侵実績と設計を震度 1 の間に茂木芳賀あるような、そんなイメージです。
1:50:31	中国電力のクラムスです。はい。ご理解の通りで、加振試験におきましては基準地震動Ssの
1:50:39	地震動そのものを用いてもいいんですけども、ここでは、ある程度一定の余裕を持ったような模擬地震はを設定して、それで加振試験を行うということで間にワンクッション、模擬地震はを設定して、
1:50:52	いうことを行っております。以上です。
1:51:05	はい。規制庁の吉武です。理解はしたので、これもすいません先ほどと同じなんですけど、9 番の、
1:51:11	ところにもう少し詳しく目に書いていただきたいんですけどよろしいですか。
1:51:21	中国電力のクラムスです。承知いたしました。
1:51:26	成長用施設ですよろしく申し上げます。
1:51:29	少々お待ちください。
1:52:00	規制庁ナカムラです。本当。
1:52:04	比較だという 8 ページで、あと、おっしゃる方が、
1:52:10	それぞれ 11 ページになるんですけど。
1:52:13	ほう素の話で、古野。
1:52:17	TOBのクリックの数を 16 人した理由をご説明いただいてもよろしい。
1:52:30	中国電力のコウゲです。クリップの個数につきましては、
1:52:36	プロアートパネルお風呂のブローアウトパネルはSDでは開放させずに、設計用の内圧、開放荷重では開放をしなければいけないと。
1:52:51	いうことでございますので、
1:52:53	その間にちょうど開放荷重が収まる、トリップ個数として設定したものでございます。
1:53:05	介護

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:07	に係る荷重の関係につきましては、
1:53:10	補足説明資料の 33 ページ。
1:53:17	にございます。
1:53:21	こちらでグループ 16 行を設定した場合の、クリップの開放荷重、クリップ 1 個 ずつの開放荷重のばらつき、
1:53:32	標準偏差の 3 倍のプラスマイナスを見ても、Sd-DAIは開放せず、
1:53:40	開放荷重で設計解放なやつでは開放するというような範囲に収まっているとい うご説明をさせていただいております。
1:53:50	はい。以上です。
1:53:58	規制庁だから、16 個にした場合の、
1:54:03	なんすかね。海宝神様な力っていうかね、確認取れた、
1:54:10	大北委員、33 ページの機械で、
1:54:13	わかるんですけども。
1:54:15	税、補足の 11 ページで、そもそも今、25 についてるんですよ。
1:54:23	いえ、
1:54:25	ここ 2、
1:54:27	ハタっていうのは、支局は一步だった。
1:54:31	新規以前で、
1:54:35	もともといじめてたけど、今回の手当の引き上げとかで、16 に設定をし直した ということですねこの 11 ページの説明は。
1:54:47	実はわからないんじゃない。
1:54:51	中国電力のコウゲです。もともと 20 行ついておりましたのは幅が 85 ミリ。
1:54:59	良いのを、クリップをつけておりました。
1:55:03	このクリップでは引き上げた、開放荷重、
1:55:10	そうか、引き上げた、SB荷重で開いてしまいますので、
1:55:17	より強いクリーブになるように、140 ミリの大幅 840 ミリのものに変えて 16 号に したというものですトータルの荷重としてはこれ、
1:55:29	藤甲斐上がっております。落ちにくくなっております。以上です。
1:55:48	中国電力のコウゲです少し補足します。江藤ブロックの幅につきましては次の 補足説明資料の 12 ページにありますように、
1:56:00	ブローアウトパネルパネル自体に縦横に骨が骨部材が入っております、これ を交わすような形で配置をするような必要もございます。
1:56:14	そういったことと、あとは事前の評価、試験をやりまして、この幅の狭いクリップ よりも幅野厚広井。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:27	クリップの方が、開放荷重のばらつきが少ない、正確性の高いような設計ができるということで、この 140mmを標準に考えてそれで、
1:56:39	先ほどの開放すべきレンジの中のちょうど中央辺りに収まるようなはい個数として 16 を設定したというものでございます。以上です。
1:56:54	院長仲村です。その内容は理解しました。まず新基準対応として
1:57:02	85mmのクリップだと、SDで開いてしまうので、
1:57:07	幅を広げた上で、
1:57:11	設定する、中間の代であるに収まるように 16 校を設定したってということで理解しました。
1:57:18	これ、例えば、FLIPの、
1:57:23	クリップ試験の結果の最大値とかで、確認すると多分 12 から何か、
1:57:30	20 弱、16 とか 18 とかがらいまではおさまると思うんですけど。
1:57:36	これは、実際に試験されて、16 が中間値であるっていうのが確認された上で、
1:57:43	16 行っていう個数を添付されたってということでよろしいですか。
1:57:49	中国電力のコウゲです。はい。ご理解の通りです試験の結果を見ながら、
1:57:55	設計レンジもはっきりさせながら、その中央値をねらって行ったというものでございます。一定の上限に対しても下限に対しても一定の余裕を確保した方が、どちらかによるっていうよりかは、
1:58:09	余裕を同じように確保した方が良いと思いましたのでそのように設定させていただいております。以上です。
1:58:17	規制庁仲村です。わかりました。
1:58:20	それでは 22、85、25 だと新規基準対応としてって書いてあるんですけど、丸委員が駄目だったのかってのちょっとよくわからないので。
1:58:31	そのSED開いてしまうってということと、
1:58:33	衛藤、実際、個数を変動させて試験もやられたってということでしたので、
1:58:40	その試験結果を変えて説明していただいた上で、
1:58:46	16 が一番妥当だと判断したってということも説明いただいてもよろしいですか。
1:58:53	中国電力のコウゲです。先ほどの従来の 3、85 ミリ事故ではSDでは落ちてしまうっていうようなそこは追記させていただきますけれど。
1:59:05	FLIPの個数を変動させてというような解放試験までは、行っておりません。クリップ単体の引張試験でのクリップ 1 個のを、
1:59:16	下方果樹。それとそのばらつきは、補足にも書いてあります通り試験をしております、その結果を見て、中央値 16。
1:59:28	16 中ねらって 16 日だと、そういった旨を記載させていただきたいと思います。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:36	規制庁ナカムラわかりましたよろしくお願いします。
1:59:47	先ほどの衛藤
1:59:52	幅野Gなんです、82 から 100、140 に変えずにバランスケース会議の記載をお願いできると思います。よろしくお願いします。
2:00:04	中国電力のコウゲです社内試験としてはやっておりますけど品質保証したようなデータではないのですが、それでもよろしいでしょうか。以上です。
2:00:31	ちょっとその開口部のばらつきが少ないっていうのはその何か試験の結果とかではなくてっていうことで、
2:00:40	社内で定性的にやられたっていう、
2:00:44	中国電力のコウゲです。一応試験方法としては今も他のものは、補足に説明しているようなものと同じようなもので行いましたけれど、
2:00:55	試験体の個数であるとかその製造方法であるとかそこまでの管理をちゃんとした試験でもないの、傾向を見るためにいくつかやってみた。
2:01:09	というような位置付けでございますので、品質保証したちゃんと説明性のあるものというわけでもございません。そういう意味でございます。以上です。
2:01:25	院長なかなかピーク保障されるものはないんですけども、その暖房としてやられたっていうことです。それであれば、
2:01:37	そういうことで、特にその旨もう記載いただいて参考情報という形ではないかと思うんですけども、
2:01:45	実際に 85 から 140 変えたっていうのを根拠としてこれはあると思うので、そこは記載いただけるとは思いますがいかがでしょうか。
2:01:55	はい、わかりました参考情報として社内で行った概略試験。
2:02:03	といますかそういったもの。
2:02:05	の結果においてはというような内容で追記させていただきたいと思います。以上です。
2:02:11	院長中野谷津よろしくお願いします。
2:02:45	規制庁の吉崎です。本体資料の方が見やすいんで本体資料の方が説明、補足説明だ。
2:02:54	補足説明の 43 ページ。
2:02:59	ここで文章をしたから、
2:03:03	3 行目ぐらいですけど、プロバーパネルが屋外の屋根スラブに、
2:03:08	設置しない設計としてもらってこれは、
2:03:12	屋根スラブはこれほどこのことを指してるのか。
2:03:16	説明してもらえますか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:03:22	中国電力のコウゲです。すみませんでした図に屋根スラブの表示がありませんでしたが、屋根スラブの位置といたしましてはこの、
2:03:32	ブローアウトパネルは今、オレンジで背記載しているものですが、これは建物の外壁位置にございまして、その外側に
2:03:44	鉄骨が竜巻防護ネットを取りつけるネコヅカ台がありますので、この鉄骨外來が載っている、この図で言いますと下のグレー部分灰色部分、ここが、
2:03:59	実際は屋根になっておりまして、この屋根スラブに落ちないということをご説明を記載をさせていただいたものです。
2:04:10	屋根スラブの位置としてはここになります以上です。
2:04:30	中国電力のコウゲです少し補足します屋根スラブといいますのは本当の減少建物の一番上の矢名を言ってるわけではなくて、
2:04:41	1段下がったブローアウトパネルの前面に一段下がった、下屋と申しますが、いざ下がった止めがございまして、その上に落ちないという、ご説明でございます以上です。
2:05:13	規制庁の吉崎です。屋根政府の場所はわかってここは明確にして欲しいんですけど、そのあとに、
2:05:21	屋根スラブに設置しない設計。
2:05:26	としているから、
2:05:29	肺胞時に、
2:05:31	区内に倒れ込むことは長くてのが、
2:05:34	これは言わなかったんで、もう少し説明しますか。
2:05:41	中国電力のコウゲです。すみません。文章は少し修文をしたいと思います、趣旨と言いましいたしましては、
2:05:51	下側のチェーンが短く、上の遅延が長くなっておりますので、開放状態としては、上が開いた状態。
2:06:06	停止いたしますしかもその
2:06:09	屋根スラブの上にこのグラウトパネルの下場が接触して、何か直立するような状態であれば、屋内側に倒れ込むってというような状況もあり得る。
2:06:22	野辺ってというようなことで、こういうそういう説明をしたかったわけですがそこら辺、この開口状態、上が開いた開放状態で止まるからというなのが少しわかりにくくなっておりますので、
2:06:35	文章の方を少し修文を検討いたします。以上です。
2:06:46	規制庁の吉崎です。理解できました。上がこの図のように開いた状態で下が短いから、そんなに下まで落ち込むことはなくて、
2:06:55	だから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:56	嘘併設に干渉することもないと、
2:07:02	説明わかったんですけど適正化をお願いします。
2:07:07	はい。中国電力のコウゲです。はい、了解いたしました修文いたします。
2:07:16	糸永齋藤資格の中なんで、これちょっと記載を追記だけお願いしたいんですけど。
2:07:26	当院とKKとの案のところ、島根 2 号機のFDは終了ないっていうふうに、
2:07:33	記載があるんですけど、
2:07:37	なぜないのかっていうのが、多分補足の 134 ページのコーキングの話だと思うので、
2:07:43	なぜないかっていうのも、追加でお願いの記載を、
2:07:47	お願いしたいんですけどいかがでしょうか。
2:07:57	中国電力のコウゲです。はい。比較表が差異理由のところと同じように
2:08:05	理由も危惧いたします。処分いたします。以上です。
2:08:11	院長永松よろしく申し上げます。
2:08:20	比較の 29 ページなんですけど、
2:08:25	TOBの構造設計の機能維持のところ、
2:08:32	庁舎における電車での減少と躯体の方から変更、
2:08:36	計画がパネル本体と、
2:08:39	学部が接触する層間変形角小さくも確認するっていう記載があるんですね。
2:08:43	定数の報告に。
2:08:45	目がありましたでしょうか。
2:08:54	中国電力のコウゲです。補足のほうにはつけておりません。先方もつけてないということですけど、
2:09:04	あの、
2:09:05	これ設備に対して、耐震計算書等、
2:09:11	今後、提出補正、提出いたしますので、その中でお示しする、
2:09:17	こととしております。以上です。
2:09:23	院長仲川わかりました別の耐震計算書で説明されるということによろしいですか。
2:09:31	はい。中国電力のコウゲです。はい耐震計算書の中にこれらの説明を記載いたします。以上です。
2:09:39	規制庁ナカムわかりましたそれがな。
2:09:44	不安。
2:09:46	パラメーぐらいに、
2:09:47	ブロック単位に対して逆に示すっていうところっていうことによろしい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:53	恐怖電力のコウゲです。そういった意味で記載しております。以上です。わかりました。ありがとうございます。
2:11:53	規制庁のヨシザキですけど、比較表の、
2:11:56	36 ページ。
2:11:59	先ほど少し説明あったんですけど、本
2:12:02	丹治君。
2:12:04	の加振を(5)実施するのは、
2:12:07	これは先行とは違うんですけど。
2:12:10	オフ、もう一度説明しました。
2:12:18	中国電力のクラムスです。
2:12:20	はい先行プラントさんの方では、3 方向、同時に加振するような、そういった加振試験を実施されております。
2:12:30	これに対しまして島根 2 号機では、1 方向の加振試験を各 3 方向に対して実施するというやり方で実施をしております。
2:12:40	方法としては異なるところにはなりますけども、1 方向の加振試験を各 3 方向に対して行うということは耐震の加振試験としては一般的に行う手法であって
2:12:52	当社としては一般的な手法を適用して試験を実施したものというふうに考えております。以上です。
2:13:06	規制庁の吉崎です。センコーが 3 億同時でやって、
2:13:12	Cマナーわ一単軸で 1 個ずつ、上下左右、
2:13:18	3 方向やったっていうそういう説明ですかね。
2:13:27	中国電力のクラムスです。はい。ご認識の通りです。またあと 1 点補足させていただきますと、当間か 3 方向同時の加振と各 1 方向の加振というのは基本的には
2:13:39	同等なものというふうに認識をしておりますので、
2:13:44	耐震性の確認という意味では差異がないものと考えております。以上です。
2:13:54	清澄ヨシザキですがその辺を少し備考に書いていただきたいんですけども、同等な。
2:14:01	やり方をしているということも、評価した上で確認すると、一般的な言い方。
2:14:10	少しその辺を、
2:14:15	ほぼ同じレベルでやってるというのを追記、検討いただきたいと思います。
2:14:23	中国電力のクラムスです。はい、承知いたしました。備考欄の記載、充実検討いたします。以上です。
2:15:37	規制庁のヨシツグ
2:15:39	資金の時のか、内容の確認なんですけど加振試験をやるときってのは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:45	一緒にやってるんですかね。
2:15:51	中国電力の中嶋です。今、一色っておっしゃられたのは、実際に取りついている方、何ていうんですか
2:16:00	ダンパーが 24 台設置されてる状態かどうかということでしょうか。
2:16:07	はいその通りです。1 枚当たりパネル 1 枚当たり 24 だったら 24 一式でやっているのかという。
2:16:16	15、
2:16:21	表現力のナカシマです。あと、
2:16:23	次のとですね比較表でいうと次の 31 ページの 37 ページの図 7-4 で記載している、図を見ていただければと思うんですけども
2:16:34	24 台をすべてくみ上げての加振ってのはちょっと規模的にも厳しいので、
2:16:39	それぞれの
2:16:41	フド一部ごと、ですね 2 年の乱発 3 年のダンパ事。
2:16:44	での加振を実施しております。以上です。
2:17:04	規制庁の義崎それは、
2:17:07	安達
2:17:08	その影響がないことの説明って、何かどっかにあります要は小分けにしてやったけども、トータルでやっても、
2:17:17	営業もないという、
2:17:20	トータルの評価の仕方なんですけど、これに連絡は 3 年ナンバー 1 個 1 個なんですけれども何だ、6 個で 1 個とか 4 個で 1 個とかっていうふうにされてましたけど。
2:17:32	そうそうでもなくて、本当に国バラバラでやっているとそういうことでしょうか。
2:17:38	中部電力の中嶋です。基本的にはその 2 連と 3 連のダンパーの 2 種類を複数行、一つの開口に設置するという構造。
2:17:47	でしてその適用されるその 2 年のダンパー。
2:17:52	団体とされる何パターン対応されて、加振をして、
2:17:55	おりますんで、最終的に設置するときに使うその設置箇所、設置がないとちょっと言いますが設置型については剛構造。
2:18:04	のものに取りつける設計としておりますので檀パターンそれぞれ 2 年 3 年の、
2:18:10	加振試験での機能維持確認を実施することで、
2:18:14	もう機能維持としては問題ないという、
2:18:17	整理になっています。今、すいません今説明したところはちょっと資料中には記載がない。
2:18:22	認識してますのでちょっとどこかに記載を、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:25	するように検討いたします。以上です。
2:18:30	計上して、まとめていただいて、やっぱり前段の条件で、ぜ。要は、全部意識できないので、そういうバラバラでやって、最後、組み立てて、ちょっと
2:18:42	説明の仕方を少し検討いただきたくて、その元ランパートされる。
2:18:50	昔のやり方と、
2:18:52	通常はこうだけでも、恒例でやっていて、トータルでも問題ないということ、少し試験の
2:19:01	前段のところの説明いただきたいと思います。
2:19:04	例えばその気密試験はどうなんですかね。
2:19:10	中部電力の長嶋ですとか新試験号の気密試験についてですけどもそれについてはその今の図のように示している状態で、それぞれのダンパの羽根1枚当たりに対して、
2:19:23	試験を実施。
2:19:25	しています。
2:19:26	2年で言うと羽根2ヶ所。
2:19:28	にそれぞれ装置を取り付けて、
2:19:32	マーカーとして、漏えい量を測定するということを実施しております。以上です。
2:20:07	規制庁の吉崎ですけど確認なんですけど今の、
2:20:11	君津福元2円ダンパー3連覇で5やってて、2年の場合は2枚の羽根の。
2:20:18	それぞれの気密を確認してる。
2:20:20	3年度3年の三つ3枚の羽根の1個。
2:20:23	への漏えいを確認しているとそういう、
2:20:27	ことでしたか。
2:20:31	中部電力の中嶋です。はい。ご認識の通りでして羽根からの漏洩量を勘案しまして、
2:20:38	舞子媒体あたり、
2:20:41	装置箇所あたりが失礼しましたそれぞれの凡例の部分で、漏洩量が、基準としてるのが4等級以下、実名が得意かですけどもそれ以下であることを確認。
2:20:53	しております。
2:20:54	以上です。
2:22:04	規制庁の吉崎です君津のインリークの。
2:22:10	計算の出し方っていうのは、
2:22:13	羽根1枚1枚の、先ほどの気密試験の結果を、
2:22:18	単純にいくと30分ですか、あれを、Sを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:23	管理をかけてやっているということでよろしい。
2:22:35	中部電力の中島です。基本的には各部から、失礼します。羽根の部分の漏えい量に対して、
2:22:45	許容漏えい量を設定しております。補足説明資料の 118 ページ。
2:22:51	荷物の記載はありますけども、
2:22:57	一番者に過去にでも判定基準、
2:23:01	ということでK漏洩量が面積当たりこの程度。
2:23:05	この数値がちょっとマスキングなのでちょっと具体的には説明できませんけども数値記載の数値以下であることを確認。
2:23:14	しております。
2:23:15	でも、それぞれの試験をして、
2:23:18	角田新小俣塾で実施した先ほど説明しましたけども単軸加振前に、気密試験を実施しておりますのでこれでこの漏洩量行こ。
2:23:28	であることを確認しております。
2:23:33	以上です。
2:23:59	規制庁の吉崎です。今の補足の 118 ページ。
2:24:04	判定基準の小松委員のところはこれは、
2:24:09	パネル 1 枚当たり、
2:24:12	ご協力それでも羽根 1 万円。
2:24:16	1 平米あたりになります。池辺。
2:24:20	はい。衛藤すいません次の 119 ページに行っていただいてダンパーとして漏洩量を見る面積がいくつかってというのが、
2:24:27	次のページと、ちょっと算出をしておりますけども、これはね 1 枚当たりの面積。
2:24:33	ちょっと計算して、
2:24:36	おりますその面積、
2:24:38	に対して、先ほどの 118 ページで、
2:24:42	収支累計鈍いの。
2:24:44	以下であることを確認しているという試験になり、
2:24:48	以上です。
2:25:13	中部電力の中島です。それで最終的に
2:25:18	分析の内容がすいませんおそらく原子炉建物全体としてどうかってところも踏まえてっていう記載について、
2:25:24	ということだと理解してるんですけどもえと。
2:25:27	補足説明資料の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:29	129 ページ。
2:25:32	の方に、
2:25:33	原子炉建物としての負圧達成についてということで、
2:25:38	先ほどの試験の結果から、一番最大の漏洩量。
2:25:42	ちょっとすみませんそのマスキングでちょっと、
2:25:45	言えないんですけどもその辺りを、
2:25:48	本当に計算をして、
2:25:51	計算の結果から負圧を達成できる。
2:25:54	というような評価をしております。
2:25:57	以上です。
2:26:05	江藤仲間です。またいやあ、913、差替資料の9つというのは、
2:26:13	各連ダンパー3年ダンパーで、
2:26:18	加振試験をやってあげて、
2:26:21	その上で、この2年ダンパーの羽根1枚と3年度からは三品委員も、
2:26:27	給料を見られたと思うんですけど、その、
2:26:30	羽根駒井です。駒井。
2:26:33	大内の最大値をとったっていうがよろしゅう。
2:26:39	中国電力の中嶋です。ご理解いただいている通りで一番漏えいした値を使用しております。
2:26:45	以上です。
2:26:47	国井前に不良として、何%以内の何%の上の面積がこの辺りなので、
2:26:55	これは48万やるで、それに最大の通気量をかけたら、林業が出てくるだろうっていう計算と、
2:27:04	ご理解いただいていると、中国電力の中嶋です。ご理解いただいている通りです。以上です。
2:28:58	規制庁中ですね63ページの露木量の測定を、
2:29:05	された過程というかそれぞれ幾つでしたよっていうのが、何か補足に載ってません。
2:29:19	中国電力の中嶋です。それぞれのダンパからの漏えい量は
2:29:26	補足の128ページの、
2:29:28	表の5-1。
2:29:30	2、63kPa時点の通期量として記載をしておりますけども、こちらで回答になっておりますでしょうか。
2:29:40	この関係。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:00	中国電力の中嶋です。この表の 5-1 に示している、いるのが 2 年乱発 3 連覇それぞれで案の発信試験を指示した結果、
2:30:10	この後の、
2:30:12	気密試験結果で複数当然先ほどの説明の中で、単軸試験前についていうので、種回数を実施しているんですけどもその中で一番漏れている、通気量が大きかった記録をそれぞれ記載している表にあります。
2:30:27	以上です。
2:30:51	規制庁の吉崎ですけど、ちょっと 128 ページのマスキングなんですけど、オオノ測定した中で何か特出して出ている理由は何です。
2:31:15	協力の方です少々お待ちください。
2:31:32	中部電力の中嶋です。ちょっと参考として、補足説明資料の 101 ページ、通しページ 101 ページをお願いします。こちらの写真がありますので、
2:31:48	はい、どうぞ。
2:31:49	はい。こちらの写真で上の方の写真が見やすいと思うんですけど羽根の縁にもうちょっと広い。
2:31:57	この縁についてる白い部分がパッティングになるんですけども。
2:32:01	こちらをちょっと閉止したときに、そのパッキンの、
2:32:05	座りなんていうか、そのケーシングへの押し当たり方。
2:32:09	ていうところが、
2:32:10	改正前に多少差は出るところです。
2:32:14	そこによる。
2:32:15	漏れい量のばらつきっていうもので、になっておりますので実質その加振試験によってその、
2:32:23	漏れい量が増加するといった傾向は見られなかったものです。
2:32:27	以上です。
2:32:44	院長仲村です。加振試験による影響ではないねだったんですけど。
2:32:53	そうすると、理解が大きいかもしれないけど、
2:32:57	128 ページの、
2:33:00	しんどい羽を閉止試験っていうのと、
2:33:04	羽根菱田とか新保に試験っていうのが、
2:33:08	数値がこんなもん、結果はないはずじゃないかなって思うんですけど、ここところ、
2:33:17	局の中沢です。衛藤すいませんなので、
2:33:20	先ほどの写真でも説明させていただきましたシール部分がケーシングに押し当たってシールをするっていう構造に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:33:29	なっているんですけども、そのそのシール材のケーシングへの当たり方、極端に、
2:33:36	誘導、その押し当たり方の下限分というかその、
2:33:41	押し当たり方という言い方がちょっとうまく言えないんですけどもそこ。
2:33:46	具合によってですね多少のもう極端な話目視で見ても少々の隙間が、
2:33:52	極端に言うんですけども、あったりしたバーい。
2:33:55	の漏洩量が、
2:33:59	先ほどの 128 ページ。
2:34:01	いうところの最も漏えいが出た。
2:34:03	部分で、一方でその他の低いところっていうのはもう目視上ではもう全く、そういう隙間のようなものが見受けられない。
2:34:11	というような、
2:34:12	状況での結果になっておりまして、今ご指摘いただきましたその加振試験、要は閉状態で加振をした後の漏えい。
2:34:19	試験だったりとかあとは、海上で加振をして締めた後の漏えい試験っていうところでまた信号に基本的に当然、
2:34:27	雪の実施はしておりますけども、その加振によって、その今のシール、
2:34:33	の押し当たり方が変わるっていう状態はな。
2:34:36	あったという。
2:34:38	ところを説明した方も、
2:34:40	基本的にこの漏えい量なんですけどもその次のページで計算しておりますけども、いずれもその漏えい量としては、かなり小さい数字になっておりまして問題ないものと考えております。以上です。
2:34:59	結局うちだけこの、
2:35:01	表で、産卵場の方、
2:35:05	ここは何か、逆に何だ、
2:35:08	写真 5。
2:35:10	閉状態で加振後の方は値が小さく等になっていくかな。
2:35:15	これはだから 2 年ランパート異なる理由は何ですか。
2:35:24	中国電力の鷹野です。こちらにつきまして 2 連戸田 30 による相違。
2:35:29	であったりとか加振による相違ではないと考えてございまして、
2:35:33	ダンパーの閉止方法ですけども、こちらはですね回転をしながら編集をするというような構造になってございます。
2:35:44	例えば他の閉止するようなもので例えばパッキン画面と面で当たるような場合はですね、機密量のばらつきというのは出づらいんですけども。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:54	どうしても開廷しながら閉庁するという、構造上ですねこちらの羽根についているパッキンが上のケーシングにあたって閉止すると。
2:36:03	ということになりますけれども、その辺あたり方に、
2:36:08	横から入ってくることになりますので、その、
2:36:11	閉庁するときの座り具合ですね、によって多少ばらつきが現れるということになっていると考えてございまして、今回たまたまですね
2:36:22	2年ダンパの時は閉が次料が高くなる3年ダンパーの時は低くなるといったようなことがございますけれどもあくまで偶然かなというふうに考えてございます。
2:36:34	あくまでですねへ、閉止措置上は非常に高い機密性残っておりますのであくまで誤差のレベルかなというふうに考えてございます。以上です。
2:37:06	規制庁の義崎少し何だ。
2:37:10	たと。今言われてた諏訪有井の関係が、何かやればやるほどバラバラなんだからあんまり、
2:37:18	何か、
2:37:20	意味ないというかあんまり信頼度がないのかなと思っていて、
2:37:24	ちょっとたが異なる理由だとか、
2:37:29	先ほどちょっと確認した。
2:37:35	写真。
2:37:36	いや前と加振後で、
2:37:39	かなり違うという理由。
2:37:42	あと2年と3年の違う理由を整理して説明をしていただきたいんですけどもよろしいですか。
2:37:53	中国電力の中嶋です。基本的には先ほど口頭で説明した通りの内容にはなりますけどもちょっと端的に言うともう
2:38:03	性能の範囲内での誤差ってということにはなるんですけども先ほど説明者佐野ダンパー指示のそのパッキンの座りの状態だったりとかっていうところを記載しながら、追記の検討をいたします。
2:38:14	以上です。
2:38:19	院長ナカムラすみませんご説明いただけそうなんですけど、以上、今は確かあったけど、確認させてください。
2:38:27	今、
2:38:30	写真後に提出が一金閉止状態で加振後に試験をするかで、結構値が違ってくるんですけどこれは、
2:38:37	今まで明確に加振によるものではなくて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:38:42	だんだん改善して、経審にあたって、罰金ですかねパッキが、日程するので、
2:38:50	それを1回1回でも改善して当たる時の、今言われた諏訪委員が悪いかわかっていう話で変わってくるということで理解しておけばよろしいですかね。とりあえずは、
2:39:02	中国電力の中嶋です。もうまさにご理解の通りでして、
2:39:07	基本的にはその加振試験によって例えばその装置、ケーシングがひずんとかダンパーが変形するとかそういったことは一切ありませんでしたので、今のご理解の通りになります。以上です。
2:39:18	規制庁の話はわかりました。ヨシザキナガタ説明。
2:39:22	多分それであれば、
2:39:25	これちょっとまた製造誤差の範囲内とかそういう話にもなってくるはずなので、
2:39:29	この違いが、
2:39:31	要は、
2:39:32	交渉し、誤差の範囲に収まっているかどうかも含めて、
2:39:36	説明をいただければと思いますがよろしいですか。
2:39:41	城電力の中嶋です了解しました記載検討いたします。
2:39:48	規制庁の吉崎です。そもそも質問、最初の質問はこの、このマスキングのMA CCSが、
2:39:55	それをういて計算をしているってことが確認したかったんで、そこ。
2:40:01	わかるようにしていただきたいんですけども、まずまずこの補足の118ページのところに、要は、そういう計算に用いているというのを教えていただきたい。
2:40:15	ですけどもよろしいですか。
2:40:20	中部電力の中嶋です。了解いたしました。はい。いたします。
2:41:01	成長のヨシザキ先ほどの気密試験は、
2:41:04	これーは1回しかやってないんですかねその2年なんかで、
2:41:09	何か再現性みたいな見てるのかなと思ひまして、確認したいんですけど。
2:41:23	中部電力の中嶋です。基本的にはその加振試験前に実施してそれぞれ後単軸で加振する。
2:41:31	した都度、試験をして、
2:41:33	おります。電発それなりの回数は試験、ちょっと今、具体的に何かやっていますというのをすいませんすぐちょっと即答はできないんですけども、試験を実施して、
2:41:43	おります。
2:41:44	でも基本的にはその
2:41:47	現状の記載の中で低い方のあたり。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:41:49	のものが、傾向的には多い。
2:41:52	ような結果になっております。以上です。
2:42:02	中部電力流しますんで、先生、続けてですけども、ちょっとすいません 19 の説明になるかもしれませんが、基本的にその 129 ページの方の、
2:42:12	計算においてはその中でも最も高かった値、
2:42:16	幅野。
2:42:18	計算条件として入れてせ、
2:42:21	計算を実施している状況です。
2:42:24	以上です。
2:42:30	規制庁の吉崎です。福塚やっいて少しデータも含めて見ているということも先ほどの補足、追加で説明していただく中の、参考として記載いただければと思います。
2:42:44	以上です。
2:42:47	中部電力の中嶋です。了解いたしました。
2:42:55	院長の赤田です。企画書で 41 ページなんですけど、
2:43:03	二瓶教授が決まっているかどうかでも見えてこれない地区も同じだから、Head が言うという認識でよろしい。
2:43:23	中国電力のクラムスです。はいご認識の通り、水平の 2 方向の中で、衛藤。
2:43:30	低い方の値を水平の代表として記載をしております。以上です。
2:43:39	規制庁永江ですね低い方の代金はということか説明します。
2:44:20	長電力ナカシマです少々お待ちください。
2:44:55	中国電力のクラムスですすいませんお待たせいたしました。今比較表をご覧いただいといますけども、比較表のページ数で申し上げますと、37 ページ。
2:45:07	2、表 7-4 ということで、こちらの表の中で、2 年ダンパー3 連ダンパーそれぞれについて、各 XYZ3 方向の、
2:45:18	加振実績の加速度の値をお示しをしております。
2:45:22	この中で水平方向が X 方向と Y 方向ということになりますので、ちょっと数値はマスキングされておりますけどもこの X 方向 Y 方向の加振実績の中から、
2:45:34	低い値をとってきたものが先ほどの、
2:45:37	40、
2:45:41	とは比較表の 41 ページのところを持ってきて当たる、ある数字ということになります。以上です。
2:46:21	規制庁中間です。ただ加振実績で、ばらつきがあつて一番低い方取つたつていう。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:46:29	そうだと思うんですけど。
2:46:33	ちょっと理解が違ったらなんですけど
2:46:37	機能確認っていうのは
2:46:44	近代の災害活動させてるので、
2:46:49	なんかね
2:46:52	機能が確認できたものの中で、一番、
2:46:56	低い値の方が保守的だから、低いほうとったって理解でよろしい。
2:47:01	ちょっとそこはいまいちわかってないので、ご説明いただきます。
2:47:07	中国電力のクランプです。37 ページの表 7-4 をご覧いただきながら、はい。と思いますけども、こちらで、X商工と坂方向の、
2:47:20	発信を行っております、2 連ダンパーさん連絡開閉それぞれ状態はございませんけども、基本的にはY方向の方が、X方向よりは小さい。
2:47:31	速度の値が加振実績として記載されてい。
2:47:35	いうのではないかと思います。
2:47:38	ですのでこのダンパーにつきましてはY方向に対して
2:47:43	この数字程度の加速度をかけて、機能確認ができたというのが加振試験の実績でございますので、そういった考え方で低いほうの値をとってきまして機能づい確認済み加速度としているというところがございます。
2:47:57	以上です。
2:48:42	中国電力のクランプですいませんと低い方の加速度を記載していることに対して若干変え再度補足させていただきますと、今X方向投影方向ではY方向の方が、
2:48:52	加振実績としては小さい加速度になっています。言い換えますと青い方向に対しては、X方向並みの加速度を掛けた上での機能確認ができていないということになりますのでやはり水平方向をまとめた。
2:49:06	機能確認済み加速度という意味で申し上げますと小さい方の加速度の値を記載するのが適切というところがございます。以上です。
2:49:21	店長ナガタのまとめる時に要は、
2:49:27	Xの値を入れてしまうと、前は機能確認が試験でできてないから、保証はできないということで、
2:49:38	推定だと言っちゃう場合大きくやっとなったってことで理解しました。
2:49:43	なぜこれステージしたんですか。和気なかった理由ってあります。
2:49:48	要は、二つ一緒にまとめて会計なった理由。
2:49:52	教えていただきたい。
2:49:56	中国電力のクランプです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:50:00	まず、
2:50:01	XYZと3方向それぞれに対して、加速度を整理しても
2:50:07	試験としてはそういった確認をしておりますので問題はなかったんですけども、耐震関係一般的な機能確認済み加速度の表現の仕方としまして、
2:50:17	これは当社だけではなく先行プラントさんでも同じだと認識しておりますけども、水平方向に対しては、
2:50:24	2方向をまとめて水平、あと、鉛直といったような表し方をしております。今回のこの閉止装置は、取り付け方取付位置等がある程度、
2:50:36	ここにこのような向きで作るっていうのが定まった設備にはなりますけども、これ以外の
2:50:41	汎用的な電気品ですとか計装品等もこういった各写真試験による機能確認等を行っておりますけどもそういった場合には必ずしも、水平のX方向とY方向が、
2:50:52	どちら向きに作るということが、一対一に対応しない場合もありますので、そういったことも考えまして、機能確認済み加速度としては水平と鉛直といった表し方をするのが一般的だと認識をしております。以上です。
2:51:10	院長の話は了解しました。
2:51:14	ちゃんと備考のところに、
2:51:18	旨を記載いただければな。今言われたようなことはそんな
2:51:24	ところなんか必要ないので、
2:51:29	簡単でいいんで2項に記載いただければと思います。よろしいでしょうか。
2:51:36	中国電力のクラムスです。承知いたしました。
2:51:49	規制庁吉井ですけど。
2:51:52	比較表の43ページ。
2:51:57	強制開放装置なんですけど、ここに先行と同じような、
2:52:03	構造図。
2:52:08	つけていただきたいんですが、でしょうか。
2:52:16	中国電力のコウゲです。はい。
2:52:20	そうですね我々の強制開放装置は、必ずしもブローアウトパネルに悪影響を与えるようなものでないというのがもう、
2:52:30	自明でありましたので、ここにはあまり
2:52:34	説明を加えておりませんでしたけれど、
2:52:40	並びもありますし、そういった辺りを
2:52:44	明確にするという意味で、先ほどの8節にありました図のようなものはそれを利用いたしましてここに追加するよういたします。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:52:58	規制庁吉井です。よろしくお願いします。
2:53:01	少々がたい。
2:54:18	規制庁ナカムラプロジェクト買ってくるだけなんですけど。
2:54:21	補足の6ページの、
2:54:24	一番下。
2:54:27	にある、
2:54:29	1000本提出の内外サービスのところなんですけど。
2:54:33	令和、内外教育の話だけなんで、
2:54:39	今年度DOPの7.3kPa以上っていうのは、記載が不要という認識でよろしいと。ずっと見てここだけ、その以上という記載がなかったんで、気になっただけなんで。
2:54:50	ご説明いただきます。
2:55:16	中国電力の高田です少々お待ちください。
2:55:56	中国電力のコウゲです。
2:55:59	申し訳ありません特段の理由はございませんが、先行機申し訳ありません東京参考に同様の記載をさせていただいているところでございます。
2:56:12	少し検討いたしまして、要求機能として10日、
2:56:19	書くべき。
2:56:20	んかどうかですね、をちょっと検討いたしまして記載を確認いたします。以上です。
2:56:27	規制庁中根です。了解しました。ただこの書きぶりに、
2:56:33	DMPを設置するための要求として
2:56:39	日比野が谷津が何キロかっていう。
2:56:43	ナイトウかかってだけの話なので、97.3%以上が、
2:56:48	メーカーの設計値でさえ、下限ということであれば、記載が必要ないかなと思いますしちょっと内容を追加して、記載の検討をお願いします。
2:57:00	中国電力コウゲです。了解いたしました。検討いたします。
2:57:05	規制庁の吉崎です。本体こそ本体資料の、
2:57:10	27ページ。
2:57:14	Mstネルの、
2:57:16	フラットパネルの構造計画の、
2:57:19	主要寸法のところはこれは、
2:57:22	ラプチャーパネル1枚当たりのっていうことだと思っんですけども。
2:57:27	ちょっとそれがわかるように、
2:57:31	学校だけでもいいんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:57:33	期さいい検討いただきたいというのと、個数がこんなに 1 枚でこれ多分ナンバー123、多分合計だと思っんです。
2:57:42	それぞれ何か 1 が何枚かというのは、括弧書きで、追記してもらえしょう。
2:57:49	中国電力コウゲです。はい内容はっきりわかりましたので、地域いたします。以上です。
2:57:56	町の吉崎ですよろしくお願ひします。
2:58:00	所長部会、もう時間もかなり動かして、
2:58:04	ちょっと待ってね。
2:58:22	議長中出すいませんちょっとこれ、確認結果教えていただけなんですけど。
2:58:30	14 ページにある。
2:58:33	DOPの開放の検知の三つセットの設置、これはどういうものかについてのが、外構教えていただきます。
2:58:46	中国電力の中嶋です。記載の通りってところにはなりますけどもブローアアウトパネル装置の閉止の判断基準の一つ。
2:58:57	そして、ブローアアウトパネルを開放していることについていうことを条件として、
2:59:02	設定するようにしておりますので、そのために、ブローアアウトフローパネルの、
2:59:08	害を検知できるようにリミットスイッチを設置すると、それがまた中央制御室でその開放。
2:59:13	状態が確認できるようにっていうことで設計をするということを記載しております。
2:59:19	以上です。
2:59:21	規制庁仲村です。わかりました。これって、
2:59:26	常設代替交流電源だから給電きてんですよね。
2:59:32	中国電力の永島です。名越のご認識の通りでして基本的にそのSA時にも使用可能となるように電源も考慮した設計としています。以上です。
2:59:43	院長ナカムラ了解しましてありがとうございます。
2:59:59	規制庁の広木ですけど補足説明の、
3:00:02	38 ページで、
3:00:07	グリット破損時の、
3:00:09	仮設備の営業の資料で、
3:00:14	国井概要のところに、プログラム。
3:00:17	工事にクリップが脱落した場合を想定してあって、
3:00:22	その下にプログラム、
3:00:25	クイックが落下するような矢印があるんですけど。
3:00:29	でした。下に行くとは限らなくて、何か上にはねるとかっていうことは、それは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



3:00:35	想定はしてない。
3:00:46	中国電力コウゲです。はい。クリップはですね開放試験のでも確認しておりますし
3:00:54	ボルトで枠に協議止めますので、基本的にはクリープ破損でとびってというようなことはないかと思っておりますが、
3:01:04	成功基準から評価しているようなものです。はめるというような状況もあまり考えておらず、
3:01:14	ここでは示した矢印は
3:01:20	アクセスルートに対する
3:01:23	外装材、建物外装材のロッカーとかを
3:01:29	の影響についてご説明している。
3:01:34	ハイエース際に、建築基準法の外装材の落下の影響を評価する条文がございまして、
3:01:48	そうですね高さ一の、関高さの2分の1の
3:01:54	水平方向の範囲に、影響が及ぶものと考えerというような、そういったものも参考にいたしましてその分2対1の角度で落ちたらこういう。
3:02:06	ところに落ちるので、影響はしないですというご説明をしております。以上です。
3:02:31	規制庁の出席がありまして来予定してるんでってということで、ちょっと今説明した何だ、2分の1とかその研究員方。
3:02:42	県だとかっていうのも、
3:02:44	説明はあるんでしたっけ。
3:02:47	今説明されたことは、
3:02:50	中国電力のコウゲです。その記載はAとしておりませんでした。衛藤。
3:02:57	ここで図示した矢印の方向を示す、その根拠として、ここに注記なりを追記したいと思います。以上です。
3:03:14	規制庁吉崎ですよろしく申し上げます。
3:03:19	少々がたい。
3:04:33	提供してるんですけどこちらからの確認は以上ですけども、そちらから何か。
3:04:42	中国電力のコウゲです。先ほどってか前半、最初の辺りですね
3:04:48	補足説明資料の一番最後の先行電力との比較の中で、
3:04:58	136 ページ。
3:05:00	134 ページ。
3:05:02	2、燃料取替階フロア宇土オオノ比較があつてこの中のテンションリングとは何かというご質問がございましたけれど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:05:12	これ女川の資料をちょっと探したんですけど実際どんなものかっていうのがはっきりはわかりません。マスキングの中にあるのかもしれませんが。ただですね。
3:05:23	このテンションリングの記載が、女川補足説明資料の中に一時期あったので、我々としても採用を説明すべき項目として抽出しておったんですけどその後は、
3:05:35	5日の時点で、この項目消えておりました、ちょっと最終版を確認させていただきまして
3:05:44	宇田川肥後さんで説明してないようであればそれ削除する方向で検討したいと思います。以上です。
3:05:54	はい。規制庁吉富です。ぜひ
3:05:57	最終版を見てますけど。
3:05:59	ないんですよね。で、少し確認されてなければ削除で。
3:06:04	そもそもこれはどういう設備なんだというのが聞きたくて、
3:06:08	なければ、なぜ、
3:06:12	修正の対応をお願いいたし。
3:06:15	以上です。
3:06:17	中国電力のコウゲです。はい。最終盤確認いたしまして、おそらくないと思いますので削除したいと思います。どんなものかっていうのは一木翁長さんの補説の中に登場した際に、
3:06:29	一部、どんな機能を持つものなのかというのは会議、記載されているようですのでそれで確認は可能かと思います。以上です。
3:06:43	はい。
3:06:44	それではそちらから確認がなければ、
3:06:48	最後いつもコメントの確認
3:06:49	やコメントを確認をしたいと思いますけど。
3:06:52	よろしいですか。
3:07:53	中国電力の中嶋です。でも画面共有しましたが、確認いただけてるでしょうか。
3:08:00	規制庁吉富です。大きく変わりましたね。はい。見てマースお願いします。
3:08:05	はい。中部電力中嶋です。それでは、上からいきます。補足の130ページで表5-3における個人試験前の名称について。
3:08:16	演習場の名称を踏まえ、検討すること。
3:08:19	続いて補足説明資料の方ですけどもブローアウトパネル閉止装置の、
3:08:24	不動操作について、操作時間の観点も踏まえて説明すること。
3:08:28	続いて補足の141142ページで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:08:33	これも非措置に関してですけども、新知見後の気密性の試験について、加圧により試験方法を採用した方式を採用した理由を説明すること。
3:08:43	続いて、あそこの 117 ページ。
3:08:47	船津試験、ドームが記載してることについて、
3:08:50	まず説明の中で見直しと言いましたけども検討すること。続いて、140、補足の 142 ページで、
3:08:58	フロートパネル強制開放装置の作動方式について。
3:09:02	両方式を採用した理由を説明すること。
3:09:05	続きまして、補足の 131 ページ。
3:09:08	ブローアウトパネル、強制開放装置において、常設設備と現場で接続する設備について、
3:09:14	現場操作の内容を踏まえて、記載を検討すること。
3:09:19	続いて、比較の 5 ページ、先ほど Ms トンネル室ブローアウトパネルの地震動に対する設計について、要求機能を踏まえて記載を検討すること。
3:09:29	次は比較の 3 ページで、
3:09:32	ブローアウトパネル閉止装置の羽根の閉操作について、
3:09:35	不動産の記載を検討すること。
3:09:38	受けまして補足の 91 ページ。
3:09:41	オペフロブローアウトパネル及び、
3:09:44	Ms トンネル室風呂パネルにおける設計差圧の上限について、設定根拠の記載を検討すること。
3:09:51	続きまして比較表の 8 ページ。
3:09:53	オペフロブローアウトパネルの落下防止支援と竜巻防護ネットの関係性について記載を検討すること。
3:10:00	続いて適正化リストのナンバー5。
3:10:03	Ms トンネル 1 ブローアウトパネル、
3:10:05	詳細設計条件の地震荷重について、
3:10:08	床応答スペクトルを踏まえた数値に適正化した理由の拡充を検討すること。
3:10:15	続きまして比較表の 10 ページ。
3:10:17	ファーフローアウトパネル開放時における飛来物の対策について記載を検討すること。
3:10:22	次が、添付の 30 ページで表の 7-3 について、説明図の全体図か、全体像の図及び、
3:10:31	装置の個数の表、表し方を踏まえ記載を検討する。
3:10:37	続きまして規制管理者のナンバー9、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:10:40	総表 7-4 における加速度の数字の適正化理由を拡充。
3:10:44	検討すること。
3:10:46	続いて補足の
3:10:48	ページが 109、2 ページと 33 ページ 34 ページ。
3:10:52	中にビジネスがオペフロのブローアウトパネルのクリップの個数の設定根拠について、
3:10:57	新直近新規制の裁量が違いますけども新規性前後の、
3:11:02	設計変更、及び、
3:11:04	クリップの試験、
3:11:06	グループ試験の結果を踏まえ、記載を検討すること。
3:11:10	続いて、補足の 43 ページをお風呂ブローアウトパネルが屋根スラブと設置しない設計としていることについて、
3:11:18	記載の拡充を検討すること。
3:11:20	続いて補足の 43 ページですけど、図 1-1 について屋根スラブ。
3:11:25	北尾検討すること。
3:11:27	続きまして比較の 17 ページは先行プラントとの相違理由について、
3:11:32	鳥根のブローアウトパネルにシール材がない理由を書く条件とすること。
3:11:37	続いて比較の 36 ページ。
3:11:39	試験方法の相違理由について先行プラントの試験方法の妥当性、同等性を示す記載を検討すること。
3:11:49	続いて補説。
3:11:51	全部ページじゃないですけど閉装置の加振試験について単体による試験の妥当性の。
3:11:57	小さいので中計を踏まえて、
3:12:00	説明すること。
3:12:02	続きまして補足の 128 ページですが、フラットパネル閉止装置の更新試験後の気密試験結果において、2 年乱発 3 年難波出野違い及び、
3:12:12	加振試験前後の違いについてダンパの構造を踏まえて説明すること。
3:12:17	続いて、141 ページは表 7-8 について、先行プラントとの相違理由を、
3:12:24	の記載を検討すること。
3:12:26	比較の 43 ページが、
3:12:28	ブローアウトパネル共済会の装置の構造図について、
3:12:31	お説を参考に記載を検討すること。
3:12:35	続いて補説の 6 ページですけども、MSTンネル室、ブローアウトパネルの内外差圧について、設計画面の記載要否を検討すること。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:12:44	添付の 27 ページは表 7-2 について、各ナンバーにおけるプロアウトパネルの個数を踏まえ、
3:12:51	協議検討すること。
3:12:53	続いて補足の 38 ページ。
3:12:57	はい。
3:12:58	普通二ノイチにおける矢印の意味について記載を検討すること。
3:13:03	最後ですけども補足の 134 ページはテンションリングの記載について先行プラントの記載を確認し、記載の要求を検討すること。
3:13:10	6 以上になります。
3:13:12	過不足あるよろしく申し上げます。
3:13:21	規制庁の吉武です。番号で言うと、
3:13:26	何ページかな。今道路で、
3:13:32	19 番から 19 番で試験方法の挿入についてってということで、同等性示して多分、丹治参事官芦田と思ったんですけど、そこだけじゃなくて先ほど言ったような気密試験のやり方とか、
3:13:45	バラバラで 1 個 1 個やってるかとかその辺を少し、何だ、先行と違うところの湯を、
3:13:56	ある程度まとめて説明いただきたいんですけども、そういう趣旨なんですけども、よろしいですか。
3:14:06	中部電力の中島です。了解いたしまして加振試験に関して先行との相違理由の布石試験方法ですね、加振試験方法と旧試験方法の相違理由について。
3:14:16	まとめてお示しするように検討いたします。
3:14:19	以上です。
3:14:24	規制庁の伊勢です他にそういった試験の違いがあれば、同じようにということで、今、
3:14:31	言ったんですけども、
3:14:34	伝わってるでしょうか。
3:14:41	中部電力長島です。プロアウトパネル側の方、
3:14:46	その他の試験を実施しているものがあれば、全厚等の執行方法の調印について、そういう内容があれば、まとめて説明するようにいたします。以上です。
3:14:57	規制庁井関です。はい。お願いします。
3:15:00	私から以上ですけど他誰か言います。
3:15:13	市長岩崎です。こちらからは特に問題もあります。
3:15:18	中国電力から何かございます。
3:15:25	中部電力の中嶋です。こちらからはありません。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:15:31	はい。それでは本日のヒアリング終了したいと思います。
3:15:35	ありがとうございました。
3:15:37	ありました。
3:15:39	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。